



武田先生と里山を歩こう会

2019.4 ~ 2020.3

表紙 八田佳子制作

武田先生と里山を歩こう会 (2019年度活動実績 (2020年2月まで))

2020.2.7

	行く先	集 合	参加者	備考
4月 12日 (金)	大阪府・能勢妙見山 【初谷溪谷コース】 (往路：徒歩約2時間、帰 路：ケーブル)	能勢電：妙見口駅；10時00分	武田先生 会員：19名	
5月 10日 (金)	六甲山高山植物園	六甲ケーブル下駅；9時30分	武田先生 会員：20名	
6月 14日 (金)	福知山線廃線跡地(生瀬～ 武田尾)	J R 生瀬駅；9時30分	武田先生 大野先生 会員：12名	6月7日 (金) より日程変更 (悪天候のため)
7月 5日 (金)	丸山湿原・西谷の森公園	JR武田尾駅；10時25分 (阪急バス上佐曾利行き10時35分発 (西谷の森公園口；10時45分着))	武田先生 会員：20名	
8月7日(水) 臨時開催	伊吹山	三ノ宮東遊園地；8時00分(8時40分バ ス出発) (旅行社：クラブツーリズム)	武田先生 会員：14名	(三宮帰着 20:30)
9月 6日 (金)	西宮 北山植物園・北山池 (国有林) 希望者：甲山森林公園	阪急西宮北口駅南口バスターミナル； 9時30分 (さくらやまなみバス山口営業所前行 き9時40分発(柏堂町；10時12分 着))	武田先生 大野先生 会員：19名	甲山森林公園まで 参加(武田先生、 大野先生、会員： 15名)
10月 4日 (金)	三木山森林公園 (昼食；和食バイキング レストラン) (1500円-飲み物別)	神戸電鉄恵比須駅；10時10分 (三木市バス59番三木営業所行き10時 16分発 (森林公園；10時24分着))	武田先生 会員：19名	
11月 1日 (金)	芦屋 剣谷湿原	J R 芦屋駅南口；9時20分 (阪急バス80番山口営業所前行き9時 33分発 (奥池；9時52分着))	武田先生 大野先生 会員：12名	
12月 6日 (金)	布引～布引ハーブ園 ～再度公園	J R 新神戸駅；9時30分	武田先生 会員：12名	
1月	「冬休み」			
2月 7日(金)	あいな里山公園	神戸電鉄藍那駅；9時30分	武田先生 会員：17名	
3月 6日 (金)	有馬富士公園	J R 新三田駅；10時00分		コロナのために 中止

第1回 「武田先生と歩こう会」のご報告

報告者 鳥巢由美子・平崎恭子

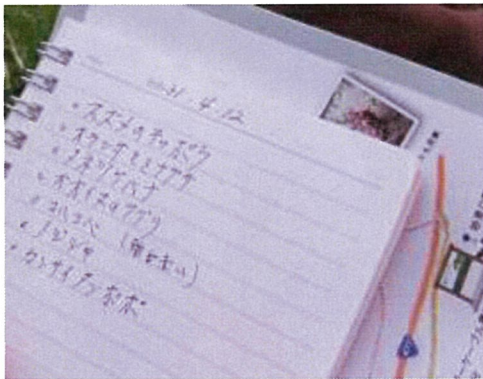
- 4月12日(金)、 天気・・・晴れ 集合場所・・・能勢電鉄、妙見口
- 集合時間・・・午前10時、
- コース・・・初谷コース(約5.9km)、いくつものせせらぎを渡りながら上る「大阪みどりの百選」の美しい渓谷コース(歩行時間：約2時間、先生の説明を含まない場合)。

<http://noreden.hankyu.co.jp/hiking/course/pdf/course4.pdf>

トーテムポールと「大阪みどりの百選」の碑→奥橋を渡り林道→春はエドヒガンや山桜、ミツマタの花が咲く→沢渡りを12~13回繰り返し初谷川を通る→1mの岩場を上り、きつい上り→車道(殆ど頂上)→自然にできた階段を通り能勢妙見山本殿→ブナ林を少し見る→妙見山駅(妙見の森リフト)→ふれあい広場(妙見の水)→山上駅(ケーブル)→徒歩10分位→妙見口

【感想】

いつものように好天に恵まれた日であったが、よく歩いた1日であった(約2万歩)。



川の水かさは低かったが、沢渡りは1回だと思ったら12回も。こんな経験は初めて。足場の悪い所は男性が手をとって助けてくれた。川沿いに歩くのも石がゴロゴロして歩きにくく、落ち葉を踏みしめて山道を歩く楽しさがよく分かった。帰りは久しぶりにリフトに乗れ、ケーブルで桜の景色も堪能。友達も「妙見山ハイキングのおかげで自信がついた」と言っていた。

本殿の前での事務所の方の説明場面



2019年4月12日 妙見山

1	アオキ	アオキ科	アオキ属	常緑低木 雌雄異株 陰樹 枝(太く緑色) 葉(有柄で対生 光沢あり 乾くと黒くなる特性) 果実(大きさ2cm楕円形 赤く熟す)
2	タネツケバナ	アブラナ科	タネツケバナ属	越年草 草丈10~30cm 水辺に群生 苗代の準備をする頃に咲くことからの名 花(花弁白色4枚) 長角果(無毛 長さ2cmほど)
3	ハクサンハタザオ (写真④)	アブラナ科	ヤマハタザオ属	多年草 草丈10~20cm 茎株立ち 花(総状花序 白の十字状花) ロゼットで越冬 長角果(線形 数珠状 長さ1.5~2cm 無毛)
4	イヌガヤ	イチイ科	イヌガヤ属	常緑小高木の針葉樹 雌雄異株 葉(長さ3~5cm 光沢無し 柔らかい 先端尖るが痛くない 裏に白色の気孔線2本) 果実(油脂を含む)
5	スズメノテッポウ	イネ科	スズメノテッポウ属	水田雑草 草丈20~40cm 葉(柔軟・無毛 細長い) 花序(穂状直立 淡緑) 除草剤抵抗性を獲得したと思われる
6	オオバイノモトソウ (写真③)	イノモトソウ科	イノモトソウ属	常緑性シダ植物 葉(1回羽状複葉 胞子葉は栄養葉より葉柄が長く葉幅が細い) ソーラス(羽片の辺縁に沿って長く付く)
7	ミヤマイラクサ	イラクサ科	チカゴイラクサ属	多年草 草丈80~100cm やや湿った場所に生育 茎(紫色ジグザグに曲がる 5稜 棘あり) 葉(互生 棘あり) イラクサの葉は対生
8	アカミタンポポ	キク科	タンポポ属	多年草 草丈15~20cm ヨーロッパ原産 環境省指定要注意外来生物 3倍体(受粉せずに種子を作る) 瘦果が赤褐色 総苞片反り返る 花(黄色3cmほど)
9	セイヨウタンポポ	キク科	タンポポ属	多年草 草丈15~45cm ヨーロッパ原産 環境省指定要注意外来生物 花(大きい 総苞片反り返る) 葉や茎を切ると白い乳液を出す 3倍体
10	キブシ (写真⑤)	キブシ科	キブシ属	落葉低木 雌雄異株 果実(8mmほどの楕円形 タンニンを含み染料に利用) 花(葉より早く総状花序を下垂させる 小さな鐘形の花)
11	ミヤマキケマン (写真⑧)	ケシ科	キケマン属	越年草 草丈20~50cm 日本固有種 有毒植物 花(長い黄色の花約10センチの総状花序) 葉(1~2回羽状複葉)
12	イワヒメワラビ	コバノイシカグマ科	イワヒメワラビ属	夏緑性シダ植物 ソーラス(小型の円形で小羽片の辺縁近くに付く) 全体に毛が多い 葉身(3回羽状複葉) シカが食べない
13	オオイヌノフグリ	ゴマノハグサ科	クワガタソウ属	越年草 草丈10~20cm ヨーロッパ原産の帰化植物 果実(ハート形) 花(青紫の4弁花 太陽によって開閉) 自家受粉も可能
14	ヒメオドリコソウ	シン科	オドリコソウ属	越年草 草丈10~25cm ヨーロッパ原産の帰化植物 葉が茎の先端に行くほど紫色がかる 花(淡紅色唇形) ロゼットで越冬
15	アリアケスマレ	スマレ科	スマレ属	多年草 草丈7~11cm 葉柄に翼 花(白から淡紫 濃紫の筋) 距(長さ4mm 短くて太い) 地上茎が立たない 茎(全ての花柄や葉が根元から出る)
16	タチツボスマレ	スマレ科	スマレ属	多年草 草丈10~30cm 丸い葉と立ち上がる茎が特徴 花(薄紫色) 葉の付け根の托葉が、ギザギザに切れ込む 距(6~8mm)
17	ナガバタチツボスマレ (写真⑥⑦)	スマレ科	スマレ属	多年草 草丈10~20cm 葉(紫色を帯びることが多い) 花(淡紫色) 托葉(粗い櫛状) 距(6~7mm)
18	スギナ	トクサ科	トクサ属	多年草 草丈10~40cm シダ植物 日本で生育するトクサ類では最小つくしは胞子茎 地下茎でよく繁茂
19	コハコベ	ナデシコ科	ハコベ属	越年草 草丈10~30cm ヨーロッパ原産の帰化植物 春の七草 茎(暗紫色を帯びる 茎の片側に毛) 花(白色5弁花 花期1~12月)
20	ミドリハコベ	ナデシコ科	ハコベ属	越年草 草丈15~50cm 茎(緑色 茎の片側に毛) 花(白色5弁花) 全草が薬草として利用
21	オランダミミナグサ	ナデシコ科	ミミナグサ属	一年草 草丈10~60cm ヨーロッパ原産の帰化植物 葉と茎に腺毛と軟毛 5弁の白い花 葉の形がネズミの耳に似ているからの名
22	エノキ	ニレ科	エノキ属	落葉高木 雌雄同株 巨木が多い 葉(上部に鋸歯 基部から3脈が目立つ 両面に毛) オオムラサキ・テングチョウの食草
23	エドヒガン (写真①②)	バラ科	サクラ属	落葉高木 ソメイヨシノの片親 サクラの中では最も寿命が長い 花(白から薄紅色 5弁花) がくの付け根が丸く膨らむ
24	モモ (写真⑨)	バラ科	モモ属	落葉小高木 中国原産 木の寿命は15~20年 花(葉の展開に先立つ 色も花弁数も多数ある) 葉(互生 粗い鋸歯)
25	オオキツネノカミソリ (写真③)	ヒガンバナ科	ヒガンバナ属	多年草 草丈30~50cm 林下の日陰 キツネのような花の色とカミソリのように細かい葉からの名 夏頃花と茎のみの状態になる
26	コクサギ	ミカン科	コクサギ属	落葉低木 雌雄異株 枝や葉に特有の臭気あり 葉(コクサギ型葉序 光沢あり) カラスアゲハの食草
27	ウバユリ	ユリ科	ウバユリ属	多年草 草丈60~100cm 花(ユリに似る 茎の先端に5輪~10輪程度つける 緑がかった白色) 葉(心臓形)
28	台場クヌギ			クヌギの幹の地上部1~2mの高さで伐採し、その伐採部分から再生する萌芽枝を育て、8~10年後に萌芽枝を伐採して薪炭原料に利用した。台場である幹は太くなって独特の景観になる

2019年4月11日



① エドヒガン



② エドヒガン



③ オオバイノモトソウ・
オオキツネノカミソリ



④ ハクサンハタザオ



⑤ キブシ



⑥ ナガバノタチツボスミレ



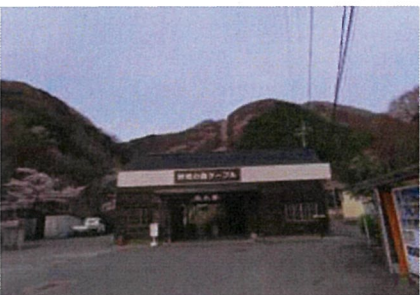
⑦ ナガバノタチツボスミレの白花



⑧ ミヤマキケマン



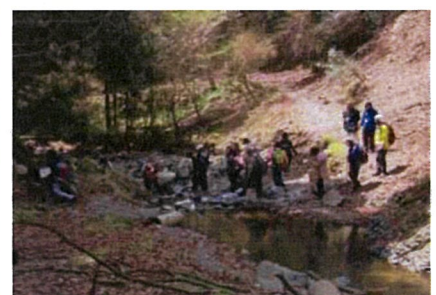
⑨ 野生のモモ



⑩ ケーブル駅



⑪ ブナ林



⑫ みんなでお弁当

武田義明先生と里山を歩こう会

2019年5月10日(金) 第2回 六甲高山植物園

集合場所 六甲ケーブル下駅 午前9時30分

参加人数 22人

行程 六甲ケーブル上→神戸ゴルフクラブ→六甲高山植物園→バス→ケーブルにて下山



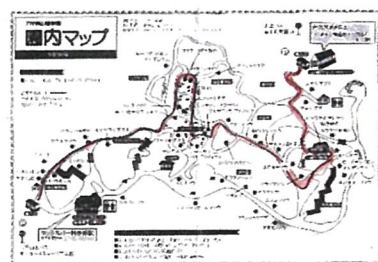
センボンヤリ
石垣にあり春先に
小さい花が咲く。



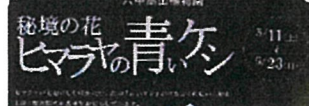
アケビ
雌雄同株で花は
雌花、雄花
それぞれ別にある。



本日のメイン
六甲高山植物園入場券



マムシグサ
茎に見える所が鞘で、
まむしが立っている
ような感じ。



六甲高山植物園の初夏の代
表的な花で、1,500株あ
るとのこと。温室だけだ
なく、ロックガーデンにも
多くありました。



クリンソウ
初夏の花として人気。
六甲高山植物園では
6,000株。



午後3時ごろケーブル下駅で解散。

個人で来た高山植物園では花を愛
でるだけでしたが、今回は武田先生
に説明していただいたので、草花の
匂いを嗅いだり、食べられる実を教
えていただいたりして、より一層植
物に興味を持って接することがで
きました。マムシグサ・ヒマラヤの
青いケシ。苺の種類もニガイチゴ、
ナガバモミジイチゴ、クサイチゴな
どがあることを知りました。
これからも楽しみにしています。

担当 野村美智子・八田佳子

2019年5月10日 六甲高山植物園

1	アオキ	アオキ科	アオキ属	常緑低木 雌雄異株 冬に赤い実が生るのは雌株 葉(陀羅尼助に配合)
2	アケビ	アケビ科	アケビ属	落葉つる性木本 雌雄同株 葉(互生 小葉5枚の掌状複葉) 花(淡紫色) 果実(食用 10cm 淡紫色) 生薬
3	ゴヨウアケビ (写真④)	アケビ科	アケビ属	落葉つる性木本 雌雄同株 アケビとミツバアケビの自然交配種 葉(互生 小葉5枚の掌状複葉) 果実(食用 10cm)
4	ミツバアケビ	アケビ科	アケビ属	落葉つる性木本 雌雄同株 葉(互生 小葉3枚の掌状複葉) 花(アケビより濃い紫色) 果実(食用 10cm)
5	ムベ	アケビ科	ムベ属	常緑つる性木本植物 不老長寿の靈果とされ古代から皇室に献上された 葉(掌状複葉) 果実(楕円形で裂けない 7~9cm)
6	コアジサイ	アジサイ科	アジサイ属	落葉低木 別名シバアジサイ 日本原産 花(両性花 装飾花が無い) さわやかな香りがする
7	オオバタネツケバナ	アブラナ科	タネツケバナ属	越年草 草丈20~40cm 苗代の準備をする頃に咲くことからの名 茎(直立せず紫色を帯びない) 葉(側小葉少なく頂小葉大きい) 食用
8	スズシロソウ	アブラナ科	ヤマハタザオ属	多年草 草丈10~25cm 近畿以西に生育 花がダイコンの花に似ているからの名 急傾斜や崖などに生育 茎・葉(星状毛あり)
9	ワサビ	アブラナ科	ワサビ属	多年草 草丈30cmほど 日本原産 食用 3大品種(間妻・だるま・島根3号) 抗菌効果、脳だけでなく全身で細胞の再生が促進
10	カヤ	イチイ科	カヤ属	常緑針葉樹 雌雄異株 葉(先端が鋭利で痛い) 果実(油脂が豊富で色々な用途に 食用) 基盤に加工
11	ミヤコザサ	イネ科	ササ属	ササ類 草丈50~80cm 日本固有種 稈鞘が離脱しない 冬、葉は緑が枯れて白くなる 節の上が球状に膨れる
12	ハルガヤ	イネ科	ハルガヤ属	多年草 草丈30~60cm ヨーロッパ原産の帰化植物 全草にクマリンを含み、桜餅のような甘い香り
13	ツタウルシ	ウルシ科	ウルシ属	落葉つる性木本 雌雄異株 有毒植物(ウルシ科の中で最強の威力) 葉(3出複葉) 美しい紅葉
14	ケヤマハンノキ	カバノキ科	ハンノキ属	落葉高木 雌雄同株 先駆種 全体的に毛が多いための名 葉(互生 円形で欠損状の重鋸歯 裏びっしりと毛が密生)
15	オニタビラコ	キク科	オニタビラコ属	越年草 草丈10~100cm 全体に細かい毛 根生葉はロゼット 春の七草「ホトケノザ」はオニタビラコである
16	センボンヤリ	キク科	センボンヤリ属	多年草 草丈(春5~20cm 秋30~60cm) 春と秋に2回花を付ける 春の花は白色のタンポポに見える 秋の閉鎖花が大行列の槍のような穂先を付ける
17	ジシバリ	キク科	ニガナ属	多年草 別名イワニガナ 茎が一面に伸びて地面を縛るからの名 匍匐枝で増える 花(淡黄色の舌状花) 葉(1方がやや角ばった卵円形)
18	フキ	キク科	フキ属	多年草 雌雄異株 日本原産 食用(露の薑・葉柄・葉) 毒草のハシリドコロと似ているので新芽採取の時は注意必要
19	アマドコロ	キジカクシ科	アマドコロ属	多年草 草丈50~80cm 花(1~2個ずつぶら下げる) 茎(稜あり) 葉(やや幅広) 生薬 根・若い芽を山菜
20	ナルコユリ	キジカクシ科	アマドコロ属	多年草 草丈50~80cm 花が鳴子に似ているのでの名 花(緑白色 下垂3~5個ぐらいつつ) 葉(ササの葉の形) 茎(稜無し) 生薬
21	マイヅルソウ	キジカクシ科	マイヅルソウ属	多年草 草丈10~20cm 葉の形が鶴が羽を広げた様子に例えた名 葉(ハート型) 群生 秋に赤い実 花(茎頂に白色の小さな花)
22	ニリンソウ	キンポウゲ科	イチリンソウ属	多年草 草丈15~30cm スプリング・エファメラルの1種(春の妖精) 群生 白い花卉の様に見えるのはガク片
23	オダマキ	キンポウゲ科	オダマキ属	多年草 草丈20~50cm 花(5枚のガクと筒状の花びら 距が角の様に突き出る) 葉(3出複葉) 全草が有毒
24	ミヤマオダマキ	キンポウゲ科	オダマキ属	多年草 草丈10~25cm 茎(高さ10~25cm 直立) 花(青紫色 3cm位 距がのびる) オダマキより小型
25	キツネノボタン	キンポウゲ科	キンポウゲ属	多年草 草丈30~80cm 葉の形がボタンに似ることからの名 花(黄色の5弁花 花びらにつやあり) 別名(実の形からコンペイトウグサ)
26	カザグルマ	キンポウゲ科	センニンソウ属	落葉つる性多年草 準絶滅危惧(NT) 花(花卉の様に見えるのは8枚のガク片 直径10cm前後 紫色のたくさんの雄蕊) 葉(羽状複葉)
27	リュウキンカ	キンポウゲ科	リュウキンカ属	多年草 草丈20~50cm 水辺に自生 群落 花(花弁状の黄色の萼片5枚) 茎(中空で直立) 葉(フキに似る) 黄金色の花をつけるから"立金花"と付いた名
28	クロモジ	クスノキ科	クロモジ属	落葉低木 葉と黄色い花が同時に展開 枝を折ると良い香り 枝から精油(クロモジ油)
29	ダンコウバイ	クスノキ科	クロモジ属	落葉低木 雌雄異株 花(黄色 花柄無し) 秋に黄葉する 種子から油(灯火・整髪・工業など) 材に香あり

30	エゾエンゴギサ	ケシ科	キケマン属	多年草 草丈10~15cm スプリング・エファメラルの1種(春の妖精) 花(青~赤紫色 唇状 距が長い) 葉(3回3出複葉)
31	ミヤマキケマン (写真⑩)	ケシ科	キケマン属	越年草 草丈20~45cm 有毒植物 フウロケマンの変種で母種より大きくて丈夫 花(やや長い黄色) さく果(線型で長さ2~3cm 数珠状)
32	ムラサキケマン	ケシ科	キケマン属	越年草 草丈20~50cm やや湿った場所に生える ウスバシロチョウの食草 有毒植物 花(紅紫色で細長い 4弁花)
33	コマクサ	ケシ科	コマクサ属	多年草 高山植物の女王 花・蕾が細く馬の様なので付いた名 草丈10cm程度だが根は1m近く深く広く 花(淡い紅色)
34	ヒマラヤの青いケシ (写真⑦)	ケシ科	メコノプシス属	多年草 自生種は標高3000m以上の山岳地帯に生育 花(6~8枚の花弁の大きな花 花期は短期間) 全体に毛
35	ヤマブキノソウ	ケシ科	ヤマブキノソウ属	多年草 草丈30~40cm バラ科のヤマブキ(花びら5枚)に似ているからついた名 花(黄色の大きな花 花びら4枚) 有毒植物
36	コゴミ	コウヤワラビ科	クサソテツ属	多年生シダ 別名クサソテツ 山菜(おひたし・天ぷら・和え物など) 山道や崖の下など水はけがよく湿った場所に生育
37	クリンソウ (写真⑤)	サクラソウ科	サクラソウ属	多年草 日本原産 湿潤な場所に生育 花(紅紫・ピンク・白 だんだんに輪生) 鹿が食べない
38	アオテンナンショウ	サトイモ科	テンナンショウ属	多年草 草丈50cm 有毒植物 花(仏炎苞 全体が淡い緑色 先端が細長い糸状に垂れている)
39	ウラシマソウ	サトイモ科	テンナンショウ属	多年草 草丈20~80cm 長く垂れ下がる付属体(60cm)を浦島太郎が持つ釣り糸に例えた名前 有毒植物 生薬
40	マムシグサ	サトイモ科	テンナンショウ属	多年草 草丈50~60cm 茎(紫褐色のまだらな模様がマムシに似ている) 花(肉穂花序 苞の中で真直ぐに立つ)
41	ユキモチソウ (写真⑥)	サトイモ科	テンナンショウ属	多年草 草丈50cmほど 花の中央に雪の様に白い餅に見える付属体があることから雪餅草と呼ばれる
42	サルトリイバラ	サルトリイバラ科	シオデ属	落葉つる性低木 雌雄異株 柏餅のカシワの葉の代用に使用 果実(赤色) ルリタテハの食草 生薬
43	カキドオシ	シソ科	カキドオシ属	多年草 草丈5~25cm 垣根を越えて繁殖するほど強いことからの名 群生 生薬 花(唇形) 葉・葉柄(長い白毛 もむといい香り)
44	キランソウ	シソ科	キランソウ属	多年草 別名ジゴクノカマノフタ 地を這う茎(四角形で毛あり) 民間薬 全体に毛が多い
45	セイヨウキランソウ	シソ科	キランソウ属	常緑多年草 草丈20~30cm ヨーロッパ原産 匍匐枝を出して群落を作る ロゼットで越冬 花(青紫色の唇型の花を何段にも輪生)
46	タチツボスミレ	スミレ科	スミレ属	多年草 草丈10~30cm 葉(心形で綺麗なハート型) 托葉(深く切れ込んでギザギザになる) 花(薄紫色)
47	ツボスミレ	スミレ科	スミレ属	多年草 草丈10~15cm 別名(ニオイスミレ) 湿ったところに生育 地上茎があり、小型の白いスミレ
48	ニオイタチツボスミレ	スミレ科	スミレ属	多年草 草丈10~15cm 全体に白色の微毛 花(良い香りがある 濃紫色~紅紫色)
49	イタドリ	タデ科	イタドリ属	多年草 草丈2m 別名スカンボ 茎(中空で竹の様に節あり) 先駆植物 世界の侵略的外来種ワースト100選定種の1つ 食用・薬用
50	アセビ	ツツジ科	アセビ属	常緑低木 馬酔木 有毒植物 花(つぼ型 下向き) 実(熟すと上向きに開く)
51	カンサイスノキ	ツツジ科	スノキ属	落葉低木 西日本に分布 葉や果実を噛むと酸っぱい 葉柄や葉裏の脈に曲毛有り 花(鐘型)
52	コケモモ	ツツジ科	スノキ属	常緑小高木 樹高10~40cm 高山植物 ハイマツの下に群生 花(釣鐘型の白い花) 実(赤い ジャム・コンポートなど食用)
53	ウンゼンツツジ	ツツジ科	ツツジ属	半常緑低木 モチツツジなどに比べると花(1.5cm)も葉も小さい 雲仙には自生しない
54	キンツツジ	ツツジ科	ツツジ属	半常緑低木 岡山・鳥根以西の川沿いに生育 モチツツジと似る 雄しべ(10本 モチツツジは5本)
55	コバノミツバツツジ	ツツジ科	ツツジ属	落葉低木 葉(枝先に3個輪生) 花(淡紫色) 花粉(細い糸で繋がって昆虫に付着しやすい)
56	ヤマツツジ (写真③)	ツツジ科	ツツジ属	半落葉低木 日本で最も普通のツツジ 葉(春葉と夏葉) 花(鮮やかな朱赤色)
57	トウダイグサ	トウダイグサ科	トウダイグサ属	越年草 草丈20~30cm 花(杯状花序 黄色5mm) 葉(へら状 互生 葉先は5枚ずつ輪生 傷つけると白い乳液) 有毒植物
58	ハシリドコロ	ナス科	ハシリドコロ属	多年草 草丈40~50cm 別名キチガイイモ 有毒植物 新芽のころフキノトウに似るので注意必要 薬草
59	ウシハコベ	ナデシコ科	ハコベ属	越年草 草丈20~60cm 茎(紫色 片側に1列の縮れ毛) 花(10弁に見える白色の5弁花 花柱が5個) ハコベより全体的に大きい

60	ノミノフスマ	ナデシコ科	ハコベ属	越年草 草丈10~30cm 小さな葉をノミの襖に例えた名 茎(紫色 株立ち) 花(5個の花弁が基部まで切れ込む) 水田に生育
61	オランダミミナグサ	ナデシコ科	ミミナグサ属	越年草 草丈10~30cm ヨーロッパ原産 全体に毛 ミミナグサより花茎が短い 花(白い花弁が萼より長い)
62	ミミナグサ	ナデシコ科	ミミナグサ属	越年草 草丈15~30cm 葉をネズミの耳にたとえた名 茎(紅紫色 腺毛) 花(花弁が半分ほど切れ込む 白色5弁 萼と同じ長さ)
63	ウラジロノキ	バラ科	アズキナン属	落葉高木 雌雄同株 葉(裏白い綿毛が密生) 花(散房花序 白色5弁花) 果実(ナシ状果 赤色1cm)
64	カリン	バラ科	カリン属	落葉高木 中国原産 果実(生で食べずジャム・果実酒などに 芳しい香り) 咳止め 生薬
65	クサイチゴ	バラ科	キイチゴ属	落葉小高木 高さ20~60cm 別名ワセイチゴ 花(4cmの白色5弁花) 実(イチゴに似た大型の赤い集合果) 葉や葉柄に棘あり
66	ナガバノモミジイチゴ	バラ科	キイチゴ属	落葉低木 本州中部地方以西 花(単生 白色5弁花 下向き) 実(橙黄色 葉の下につく)
67	ニガイチゴ	バラ科	キイチゴ属	落葉低木 別名ゴガツイチゴ 実(真赤な集合果 核に苦みがある) 花が上向きに咲く
68	キジムシロ	バラ科	キジムシロ属	多年草 草丈5~30cm 横に広がる葉を蓆に例えた名 葉(根生葉は奇数羽状複葉) 花(5弁黄色 1.5~2cm)
69	ヘビイチゴ	バラ科	キジムシロ属	多年草 草丈5~10cm 湿った草地に生育 花(黄色 5弁花) 実(光沢無し 赤色で球形 無毒だが味が無い)
70	ミツバツチグリ	バラ科	キジムシロ属	多年草 草丈8~25cm ツチグリに似て肥大した根茎(食べられない)を持つので付いた名 葉(3出複葉) 花(5弁黄色 1.5~2cm)
71	イブキ	ヒノキ科	ビャクシン属	常緑高木 針葉樹 雌雄異株 鱗上の葉と針状の葉が混在 炎のような枝ぶり
72	イヌブナ	ブナ科	ブナ属	落葉高木 雌雄同体 ブナより材質が劣るからの名 株立ち多い 樹皮(黒みのいば状の皮目)
73	ブナ	ブナ科	ブナ属	落葉高木 日本の冷温帯林を代表する樹木 白神山地世界遺産 雌雄同株 果実(山の動物の大好物)
74	アカマツ	マツ科	マツ属	常緑高木 樹皮が赤褐色 山地(尾根筋)に生える 葉(触っても痛くない)
75	サンショウ	ミカン科	サンショウ属	落葉低木 別名ハジカミ 日本原産 若葉(木の芽) 雄株と雌株あり(実が生るのは雌株のみ) 棘(葉の基に2本)
76	クマノミズキ	ミズキ科	ミズキ属	落葉高木 葉(対生 表はやや光沢あり 裏に毛有り) 開花はミズキより1か月遅い
77	ミズキ	ミズキ科	ミズキ属	落葉高木 樹液が多く、春先に枝を切ると水がしたたり落ちることからの名 葉(互生)
78	ヤマグミ	ミズキ科	ミズキ属	落葉小高木 別名サンシュユ 実(赤いグミのような実 生薬 漢方) 花(早春に黄色の沢山の花)
79	ミツバウツギ	ミツバウツギ科	ミツバウツギ属	落葉低木 芯には白い髓が詰まる 葉(3出複葉 対生) 花(白色の5弁花) 果実(矢筈状の翼をもつ)
80	イカリソウ	メギ科	イカリソウ属	多年草 草丈15~30cm 船の錨に似た白色~紅紫色の花をつけるからの名 日本固有種 強壯剤として有名
81	マルバアオダモ	モクセイ科	トリネコ属	落葉高木 雌雄異株 マルバの意味は鋸歯が少ないので(アオダモ鋸歯あり) 葉(奇数羽状複葉 対生)
82	ヤグルマソウ	ユキノシタ科	ヤグルマソウ属	多年草 葉の形がこいのぼりの矢車に似ているからの名 葉(5小葉の掌状複葉 直径50cmの大きな葉) 1mの花茎に白い花を群生
83	ユキノシタ	ユキノシタ科	ユキノシタ属	多年草 草丈40cm 花(「大」の字に見える) 茎・葉に毛多い 薬草 天ぷらにしてもおいしい
84	カタクリ	ユリ科	カタクリ属	多年草 草丈15cm程 スプリング・エファメラルの1種(春の妖精) 花(開花するまで7~8年) 葉(2枚) 球根(良質のデンプンを含む)
85	クロユリ (写真⑧)	ユリ科	バイモ属	多年草 高山植物 茎(直立) 葉(3~5輪生が数段に) 花(暗紫褐色・黒紫色 網目模様 悪臭あり)
86	エビネ	ラン科	エビネ属	多年草 落葉広葉樹林の落ち葉が厚く積もった場所に生え、群生 偽鱗茎がエビの背の見えるからの名
87	リョウブ	リョウブ科	リョウブ属	落葉高木 律令時代、畑の面積に応じて、飢饉時に重要な救荒食として畑に植えさせた
88	ガマズミ	レンブクソウ科	ガマズミ属	落葉低木 葉(対生 細かい鋸歯幅広い) 果実(生食 果実酒に利用染料) 花(白) 全体に毛が多い
89	コバノガマズミ	レンブクソウ科	ガマズミ属	落葉低木 枝・葉・葉柄に星状毛あり 花(散房花序 小さな白い花) 花(ガマズミより小さく雄蕊が飛び出る) 果実(赤く熟す)

2019年5月10日



① 六甲ケーブル下駅



② 六甲高山植物園 入口



③ ヤマツツジ



④ ゴヨウアケビ



⑤ クリンソウ



⑥ ユキモチソウ



⑦ 青いケシ



⑧ クロユリ



⑨ 遊歩道



⑩ ミヤマキケマン

【武田先生と里山を歩こう会】活動報告書③

作成日 2019/6/15 越間 峰俊

コース：福知山線廃線跡地 実施日：2019/6/14(金) 参加人員：14名
天候：晴れ/解散後雨 09:30 JR生瀬駅集合 14:00解散(JR武田尾駅前の休憩所)

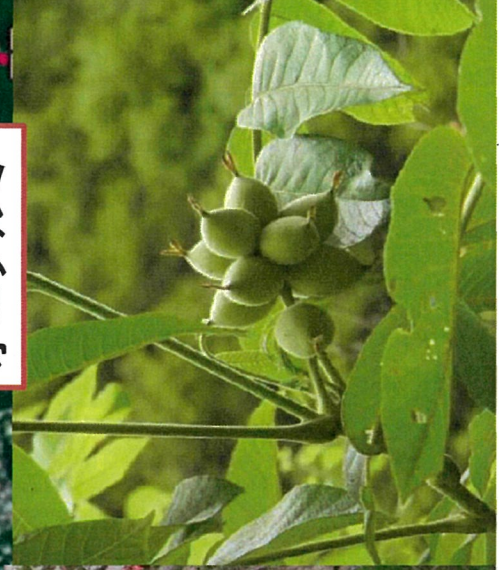
行程概要：武庫川溪谷生瀬側入口 → 武庫川溪谷生瀬側入口 → 桜の園入口
(福知山線廃線分岐) → 武庫川溪谷武田尾側入口 → 武田尾駅

ルート長6.9km 登り標高差115m 下り標高差58m

自然の「ツツジ」

オニグルミ

テイカカズラ



1	アオキ	アオキ科	アオキ属	常緑低木 雌雄異株 常緑で枝も青いから付いた名 陰樹 葉(対生配楕体あり) 実(冬に赤く熟す)
2	アケビ	アケビ科	アケビ属	つる性落葉低木 雌雄同株 実(7cm程 種の周りがある半透明の果肉を食べる)
3	コガクウツギ	アジサイ科	アジサイ属	落葉低木 枝(赤紫色) 葉(対生 つやあり) 花(白い装飾花3~4枚がまばらにある感じ)
4	ウラジロウツギ	アジサイ科	ウツギ属	落葉低木 葉(対生 裏星状毛密生) 花(白い花を下向きにつける) ウツギに比べると葉が薄く、枝も細い
5	イヌガヤ	イヌガヤ科	カヤ属	常緑低木 雌雄異株 葉裏(2本の気孔帯が目立つ) カヤに似ているがあまり有用でないからイヌがついた名
6	オオスズメノカタビラ	イネ科	イチゴツナギ属	多年草 草丈30~100cm ヨーロッパ原産 葡萄茎のぼして群生葉・茎に毛がない 花序の枝は横に開く
7	カモガヤ	イネ科	カモガヤ属	多年草 草丈1m前後 ユーラシア原産 牧草として導入された 花粉症の原因
8	コバンソウ	イネ科	コバンソウ属	一年草 草丈30~70cm ヨーロッパ原産 小判に似た小穂を細い柄につり下がった形で付けるので付いた名
9	クサマオ	イラクサ科	カラムシ属	多年草 草丈1~2m 別名カラムシ 日本に自生 皮から丈夫な繊維が取れる
10	マメツタ	ウラボシ科	マメツタ属	常緑シダ植物 岩上や樹皮上に生育 丸い栄養葉とヘラ型の立ち上がった胞子葉
11	ヌルデ	ウルシ科	ヌルデ属	落葉小高木 雌雄異株 葉(互生 奇数羽状複葉 葉軸に翼有り) 実(酸塩味) 先駆種
12	エゴノキ	エゴノキ科	エゴノキ属	落葉小高木 実の味がえぐいためついた名 花(白色釣り鐘状下向きにつく) 実(有毒 石鹸の代用)
13	カツラ	カツラ科	カツラ属	落葉高木 雌雄異株 葉(ハート型 抹香に使用) 秋に甘い香りを放ち黄葉 株立ちが多い
14	ヨシノアザミ	キク科	アザミ属	多年草 草丈50~100cm 発見者(吉野善介)の名に由来 日本固有種 花(中型の頭花を下向きに咲かせる)
15	コウゾリナ	キク科	コウゾリナ属	越年草 草丈1m 茎や葉にある剛毛が剃刀の様なので付いた名 群生 花(黄色 舌状花のみ)
16	ニガナ	キク科	ニガナ属	多年草 高さ40~70cm 花(黄色 舌状花のみ6~8個) 葉やくきを切ると白い乳液が出る
17	ベラベラヨメナ	キク科	ムカシヨモギ属	多年草 草丈20~40cm 中央アメリカ原産 葉が薄くてヨメナの花に似ているから付いた名 花(舌状花白~赤に変化 筒状花黄色)
18	オオバギボウシ	キジカクシ科	ギボウシ属	多年草 草丈50~120cm 蕾が欄干の飾りに似ているから付けられた名 葉(30~40cm程 根元から出る) 花(白・薄紫)
19	キブシ (写真①)	キブシ科	キブシ属	落葉低木 雌雄異株 別名キフジ 日本原産 葉に先駆けて花を咲かす 実(黒い染料が採れる)
20	テイカカズラ (写真⑤)	キョウチクトウ科	テイカカズラ属	つる性常緑木本 有毒植物 日本原産 花(スクリー型 良い匂い) 果実(15~25cmの袋果)
21	キリ	キリ科	キリ属	落葉高木 成長の早い木 葉(対生 直径30cm近い 毛が多い) 材(最も軽量で柔軟性に富む)
22	アブラチャン	クスノキ科	クロモジ属	落葉低木 雌雄異株 木全体に油が多い 株立ち 葉より先に黄色の花をつける 花序の下に柄有
23	ダンコウバイ	クスノキ科	クロモジ属	落葉低木 雌雄異株 葉より先に微香のある黄色花を咲かす 葉(個体差あり 秋に黄葉) 花序の下に柄無
24	ヤマコウシバ	クスノキ科	クロモジ属	落葉低木 枝を折ると良い香りがするから付いた名 葉(秋にオレンジ色に紅葉 冬葉が落ちない)
25	シロダモ	クスノキ科	シロダモ属	常緑小高木 雌雄異株 葉(互生 3主脈 裏緑白色) 実(1年後赤色に熟す) 木全体に精油を含み芳香あり
26	オニグルミ (写真⑥)	クルミ科	クルミ属	落葉高木 雌雄同株 適湿な地に生育 葉(奇数羽状複葉) クルミの木の下では他の木は育たない(アレロパシー物質を放出するので) 果実(殻は非常に硬い 生薬・食用・油)
27	ケケンボナシ	クロウメモドキ科	ケンボナシ属	落葉高木 葉(互生 コクサギ型葉序 基部から3主脈) 果柄(可食 ナシの味)
28	トキワハゼ	サギゴケ科	サギゴケ属	一年草 草丈5~15cm 花(唇型 淡紫色)が1年中あって果実がはざるので付いた名 ムラサキサギゴケに似るが葡萄茎を持たない
29	ムラサキサギゴケ	サギゴケ科	サギゴケ属	多年草 草丈10~15cm 湿った場所に葡萄茎を出して地面に広がる 花(唇 1~2cm紫色の唇形) 毛や腺毛が多い
30	マムシグサ	サトイモ科	テンナンショウ属	多年草 草丈50~70cm 有毒植物 2枚の葉と仏炎苞を形成 果実(トウモロコシの様) 茎(褐紫色の模様)
31	サルトリイバラ	サルトリイバラ科	シデオ属	落葉ツル性植物 別名サンキライ 葉(餅や饅頭を包むのに使う) 棘・巻き鬚あり ルリタテハの食草

32	ウツギ	スイカズラ科	ウツギ科	落葉低木 別名ウノハナ 「夏は来ぬ」に唄われる 幹・枝の中心が空洞から「空木」
33	タニウツギ	スイカズラ科	タニウツギ属	落葉小高木 日本海側に生育 別名ベニウツギ 花(漏斗型で先は5裂) 葉(対生 裏白毛が密生)
34	ヤブウツギ	スイカズラ科	タニウツギ属	落葉低木 枝が密生し藪になるから付いた名 太平洋側に生育 タニウツギに比べて花の赤味が濃い
35	ヤブサンザシ	スグリ科	スグリ属	落葉低木 雌雄異株 果実がバラ科のサンザシに似るので付いた名 果実(小さな赤色) 葉(掌状)
36	オヤブジラミ	セリ科	ヤブジラミ属	越年草 草丈30~70cm 茎・葉(紫色を帯び毛が多い) 葉(3出羽状複葉) 果実(かぎ状の毛が密生してひっつき虫に)
37	モチツツジ	ツツジ科	ツツジ属	半落葉低木 全体的に腺毛があって粘る 葉(互生 両面に毛) 本州における分布は岡山県の旭川が境になる
38	シラキ	トウダイグサ科	シラキ属	落葉小高木 材が白いので付いた名 葉(1つの枝につく葉の大きさがまちまち) 綺麗な紅葉
39	ウシハコベ	ナデシコ科	ハコベ属	多年草 草丈20~50cm 花(花弁白色5枚 2深裂なので10弁に見える花柱5) ハコベに比べて全体的に大きい
40	ニガキ	ニガキ科	ニガキ属	落葉高木 雌雄異株 すべての部分に強い苦みがある 葉(奇数羽状複葉) 漢方薬に利用
41	コマユミ	ニシキギ科	ニシキギ属	落葉低木 ニシキギにそっくりだが、枝に翼ができない 実(赤橙色の種2個ぶら下がる)
42	マユミ	ニシキギ科	ニシキギ属	落葉低木 枝(柔軟性があり弓の材料に) 実(四角い 薄紅色で熟すと4つにさける) 枝に翼ができない
43	アキニレ	ニレ科	ニレ属	落葉高木 花が秋に咲き実が晩秋に熟す 葉(小型で肉厚 光沢ありざらつく) 果実(翼果)
44	キササゲ	ノウゼンカズラ科	キササゲ属	落葉高木 実(30~40cmにもなる) 実の形がササゲ(豆)に似た木なのでの名 薬用
45	ウワミズザクラ	バラ科	ウワミズザクラ属	落葉高木 かつて材の上面に溝を彫り亀甲を焼いて吉凶を占ったことから上溝桜の名が付いた
46	オヘビイチゴ	バラ科	キジムシロ属	多年草 葉(5小葉) 花(茎の上部に多数集散状に 黄色5弁花 花径0.8~1cm) 果実(イチゴ状ではない 瘦果で赤くならない)
47	ヘビイチゴ	バラ科	キジムシロ属	多年草 葉(3小葉先が丸い) 花(黄色5弁花径1.2~1.3cm) 果実(直径1.2~1.5cm あまり美味しくない)
48	ヤブヘビイチゴ	バラ科	キジムシロ属	多年草 葉(3小葉先が尖る) 花(黄色5弁花径約2cm) 果実(直径2~2.5cm 光沢あり) ヘビイチゴより全体に大型
49	リンボク	バラ科	サクラ属	常緑高木 別名ヒイラギガシ 若木の葉はヒイラギに似る 日本固有種 近縁(バクチノキ)
50	イブキシモツケ	バラ科	シモツケ属	落葉低木 伊吹山で最初に発見されたので付いた名 岩場・崖に育成 葉(粗い鋸歯) 花(コデマリのよう)
51	ノイバラ	バラ科	バラ属	落葉低木 別名ノバラ 葉(互生 奇数羽状複葉) 花(白5弁花) 果実(バラ状果 赤色)
52	ヤマブキ	バラ科	ヤマブキ属	落葉低木 株立ち 花(2~3cmの黄金色の5弁花) 葉(互生 重鋸歯毛) 万葉集に17首登場
53	アラカシ	ブナ科	コナラ属	常緑高木 雌雄同株 葉(互生 上半分に鋸歯) 果実(1年で成熟 殻斗に6つ前後の輪)
54	ツメレンゲ (写真⑩)	ベンケイソウ科	イワレンゲ属	乾燥した岩場などに生えている多肉植物 絶滅を危惧されているクロツバメシジミの食草
55	ジャケツイバラ	マメ科	ジャケツイバラ属	つる性落葉低木 雌雄同株 葉と葉軸の裏面に鋭い棘を持つ 葉(2回偶数羽状複葉) 花(長さ30cm程の花穂 黄色)
56	ネムノキ	マメ科	ネムノキ属	落葉高木 葉(羽状複葉 夕方に閉じる) 花(ピンクの筆の様) 実(平たいマメの様 10cm程)
57	キハギ	マメ科	ハギ属	落葉低木 花(乳白色に紫色の斑が入る) 他のハギより茶色く木質化しているので付いた名
58	ヤマフジ	マメ科	フジ属	つる性落葉木本 近畿地方以西に分布 フジと巻き方が逆 花(淡紫色 花序はフジに比べて短い)
59	フユザンショウ (写真④)	ミカン科	サンショウ属	常緑高木 雌雄異株(日本では雄株は見られない) 葉(葉軸に翼あり) 棘(葉柄の基部に対生にある)
60	ヒトツバハギ	ミカンソウ科	ヒトツバハギ属	落葉低木 雌雄異株 葉の形がハギに似て単葉であるので付いた名 小枝(長くのび先端垂れ下がる) 花(葉腋に小さな淡黄色の花)
61	クマノミズキ (写真⑩)	ミズキ科	ミズキ属	落葉高木 ミズキとの相違点(葉が対生 花の咲く時期が1月遅い 冬芽が尖る)
62	ミツバウツギ	ミツバウツギ科	ミツバウツギ属	落葉低木 葉(3出複葉 対生) 花(ウツギに似た小さな白い5弁花) 果実(軍配の様な形の蒴果) 茎(空木ではなく芯に髄が詰まる)

動物界 昆虫綱

1	クスサン (写真⑨)	ヤママユガ科	Saturnia	成虫(開張100mm以上 褐色の翅) 幼虫(体長80mm 大型の毛虫)
2	マイマイガ (写真⑬)	ドクガ科	マイマイガ属	成虫(性的二形が顕著) 幼虫(体長60mm 1齢幼虫のみ毒針毛あり)

2019年6月14日



① 武庫川



② サツキ



③ サツキ (アップ)



④ フユザンショウ



⑤ テイカカズラ



⑥ オニゲルミ



⑦ 武庫川



⑧ 第3武庫川橋梁



⑨ クスサン



⑩ ツメレンゲ



⑪ キブシ



⑫ クマノミズキ



⑬ マイマイガ



⑭ 長尾第2隧道

[武田先生と里山を歩こう会] 植物観察実施報告書

作成 2019年7月5日

担当 煎田良吉・平崎共子・長谷真子

テーマと行き先	7月の丸山湿原の自然
行動地域	第1、第3湿原を中心に観察
実施日・天気	2019年7月5日 (くもり)
コースの概要	JR 武田尾→バス(上佐曾利行き) 西谷の森公園口下車→丸山湿原 →西谷の森公園口→宝塚
集合時刻 集合場所	10:35 JR 武田尾駅
解散時刻 解散場所	16:10 宝塚駅
費用	バス代往路¥330、帰路¥570
参加人数	21人

このところ長雨続きでしたが、今日は運良く曇り空 そんなに暑くもなく気持ちよく野外観察が出来ました。

丸山湿原へ行く途中にある植物についての説明を受けました。また、この季節に誕生するモリアオガエルの泡状の卵塊が池の上にある枝のあちこちで見られました。かえったオタマジャクシが直接池の水に落ちすぐに池での生活ができるためです。

名塩の伝統産業である「名塩和紙」はこの地に自生する雁皮を利用したもので木の幹ではなく皮(雁皮)を乾燥・粉碎し水に溶かして漉き和紙にするとのこと。用途としては京都の文化財補修などにも強さを生かして使われます。

丸山湿原には、ミカヅキグサが咲き、ハッチョウトンボが沢山飛んでいました。昨年8月に来た時にはサギソウが咲いていましたが、7月では未だ早いようです。

マルバアオダモはバットにする木だそうです。

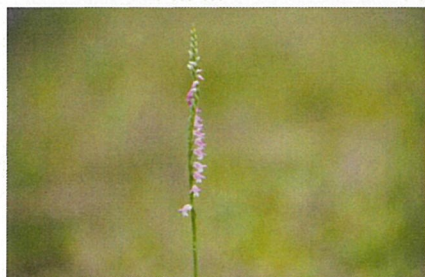


2019年7月5日 丸山湿原

1	ユウゲショウ	アカバナ科	マツヨイグサ属	多年草 草丈10~60cm 南アメリカ原産 花(葉腋に4弁の淡紅の花) 茎(叢生 毛が密生) 別名アカバナユウゲショウ
2	コアジサイ	アジサイ科	アジサイ属	落葉低木 日本固有種 別名シバアジサイ 葉(対生 5~8cm 鋸歯大きく毛あり) 花(複散房花序 装飾花無く小さな5弁花)
3	ノハナショウブ (写真⑦)	アヤメ科	アヤメ属	多年草 園芸種のハナショウブの原種 濃紫色の花びらの根元に黄色の細い斑紋 有毒植物 葛蒲湯のショウブ(サトイモ科)と別種
4	アリノトウグサ	アリノトウグサ科	アリノトウグサ属	多年草 日当たりの良い湿地に生育 高さ10~40cm 和名は小さな花が草を登ってくる蟻の様に見えるので 茎(四角形 赤みを帯びる)
5	アリアコスズ	イネ科	ササ属	小型竹本 稈(低くて細い 径1~2mm 高さ30~60cm) 葉(冬、緑が隈取る) 日本固有種
6	オギ	イネ科	ススキ属	多年草 草丈1~2.5m 湿地に群落 ノギ無し 根茎(横に這い1本1本は並行して生えるので株立ちにならない)
7	ヌマガヤ	イネ科	ヌマガヤ属	多年草 貧栄養性湿地に生育 草丈30~100cm 全草無毛 地下茎(太くて短い) 茎(直立) 葉(長さ30~60cm) 在来種
8	タカノツメ	ウコギ科	タカノツメ属	落葉高木 雌雄異株 葉(小葉3枚 枝先に束生状につく) 山菜 材がしろくて柔らかいためイモに例えられイモノキとの別名
9	ヤマウルシ	ウルシ科	ウルシ属	落葉低木 雌雄異株 葉(奇数羽状複葉 両面に毛密生 葉軸が赤褐色) 花(円錐花序5月頃黄緑色の花) 果実から蠟 樹液がぶれる
10	エゴノキ	エゴノキ科	エゴノキ属	落葉小高木 株立ち樹形 花(白花を下向きに付け芳香あり) 実(エゴサポニン 石鹸の代用 味えぐい) 毒流し漁に使用
11	ハンノキ	カバノキ科	ハンノキ属	落葉高木 根にフランキアとの根粒共生 ミドリシジミの食草 ハンノキ花粉症と食物アレルギーと関連あり
12	オニスゲ (写真③)	カヤツリグサ科	スゲ属	多年草 湿地に生育 別名ミクリスゲ 草丈20~50cm 大きくて先の尖った果胞を小胞に密生して付ける 株を作り群生
13	ヤワラスゲ	カヤツリグサ科	スゲ属	多年草 湿った草地に生育 株立ち 草丈20~70cm 全体が柔らかいスゲという意味での名
14	イヌノハナヒゲ	カヤツリグサ科	ミカヅキグサ属	多年草 日当たりの良い湿地などに群落 草丈40~60cm 花茎(比較的強く直立する傾向) 分花序(茎の上部) 果実(光沢無し)
15	コイヌノハナヒゲ	カヤツリグサ科	ミカヅキグサ属	多年草 湿地に生育 草丈40~50cm 花茎(細くて弱く、頭を下げる傾向が顕著) 分花序(離れて付く) 果実(細い逆徳利型)
16	ミカヅキグサ (写真⑧)	カヤツリグサ科	ミカヅキグサ属	多年草 湿原に生育 草丈20~60cm 白色の小穂を三日月に見立てた 果実(あまり茶色にならず淡黄褐色)
17	ノアザミ	キク科	アザミ属	多年草 草丈50~100cm 葉の基部(茎を抱き、鋭い棘) 花(枝先に直立4~5cm 紅紫色 筒状花のみ)
18	キクバヤマボクチ	キク科	ヤマボクチ属	多年草 明るい森林や草原に生育 頭花(筒状花のみ 下向き 総苞片が針状でアザミのような姿) 葉(掌状に羽裂 裏面に綿毛)
19	ノギラン (写真⑥)	キンコウカ科	ノギラン属	多年草 日本固有種 草丈15~50cm 花(穂状に淡黄褐色で緑色を帯びた小さな花を多数つける) 花被片の先の尖った様子が芒に似てるからの名 薬草
20	クロモジ	クスノキ科	クロモジ属	落葉低木 雌雄異株 樹皮に黒い斑点 花(早春、葉の展開と同時に淡黄緑の小さな花を多数つける) 独特の香気で高級爪楊枝に
21	ダンコウバイ	クスノキ科	クロモジ属	落葉低木 雌雄異株 材に香り 花(葉に先立って黄色の散房花序) 葉(浅く3裂するものと不分裂葉 裏面毛が多い 葉柄無し)
22	イソノキ	クロウメモドキ科	イソノキ属	落葉低木 湿地で見られる 葉(コクサギ型葉序 先端尖る) 花(小さな黄緑色で平開しない) 果実(紅色から紫黒色に)
23	コウゾ	クワ科	コウゾ属	落葉小高木 樹皮(最高の和紙を創る材料) 果実(キイチゴに似たツブツブの赤い実(生食可)) ヒメコウゾとカジノキの雑種
24	クサノオウ	ケシ科	クサノオウ属	越年草 ロゼットを形成して越冬 葉(深裂し羽状複葉) 花(鮮やかな黄色の4枚弁) 傷つけると黄色の乳液(アルカロイド)を出す
25	オカトラノオ	サクラソウ科	オカトラノオ属	多年草 草丈50~100cm 花が虎の尾に似ているからの名 全体毛 花穂(同じ方向に一度垂れた穂先を少し上に出す 長さ30cmほど)
26	シンガシラ	シンガシラ科	ヒリュウシダ属	常緑シダ植物 日本固有種 草丈20~40cm 栄養葉(葉軸上面に溝あり) 胞子葉(立ち上がり羽片は細くまばら)
27	ヒメシロネ	シソ科	シロネ属	多年草 湿地に生育 草丈30~70cm 茎(地下茎から直立 四角) 花(各葉腋に小型の白花を密に 唇形) 葉(披針形で厚く 光沢あり)
28	ガンビ	ジンチョウゲ科	ガンビ属	落葉低木 奈良時代より和紙の材料 別名カミノキ 刃物を使わずに枝を切り取るのは大変困難
29	コックバネウツギ	スイカズラ科	ツクバネウツギ属	落葉低木 雌雄同株 萼片2~3枚(ツクバネウツギ萼片5枚) 花(新枝の先に黄白色で漏斗状の唇型花をつける) 果実(長さ9mmの細い筒状)

30	ツクバネウツギ	スイカズラ科	ツクバネウツギ属	落葉低木 雌雄同株 花(筒状鐘形淡黄色2個つける) 果実(長さ1cmほどの線形 果実の先端に萼片5枚残り羽根つきの羽根のよう)
31	ムカゴニンジン	セリ科	ムカゴニンジン属	多年草 湿地に生育 葉腋にムカゴが付き、根が朝鮮人参に似ているので付いた名 花(散形花序白5弁で先が内側に曲がる) 全体に無毛
32	イタドリ	タデ科	ソバカズラ属	多年草 雌雄異株 別名スカンボ(生で シャキシャキとした酸味の味) 根(民間薬) 茎(太く竹のように節あり)
33	ネジキ	ツツジ科	ネジキ属	落葉小高木 幹(ねじれている) 冬1年枝が赤い 花(1列に下向アセビのような白い花 果実は上向き) 葉の毒性強い
34	タンナサワフタギ	ハイノキ科	ハイノキ属	落葉低木 雌雄同株 幹(白い) 花(小さな白い花を多数つける) 六甲山では400m以上に生育 タンナ(済州島)で最初に発見された
35	ウワミズザクラ	バラ科	ウワミズザクラ属	落葉高木 花(穂状でブラシのよう) クマリン桜餅の香り「あんにんごの塩漬け」名は古代の亀トで溝を掘った板に使われたことに由来
36	ダイコンソウ	バラ科	ダイコンソウ属	多年草 根生葉が大根の葉に似ているからの名 高さ50~80cm 花(5弁黄色) 全体に柔らかな毛が密生 集合果(球形 ひっつき虫)
37	アメリカネナシカズラ	ヒルガオ科	ネナシカズラ属	つる性の寄生植物 北アメリカ原産 他の植物の上に覆いかぶさるように群生 葉緑素無し 花(8~10月に白い花) 要注意外来生物
38	ハネミイヌエンジュ	マメ科	イヌエンジュ属	落葉高木 葉(奇数羽状複葉) 花(枝先に総状花序を出し白い蝶形花) 果実(豆果 長さ3~6cm) 枝を折るとソラマメのような匂い
39	ハリエンジュ	マメ科	ハリエンジュ属	落葉高木 北アメリカ原産 別名ニセアカシヤ 幹や枝に棘 根粒菌 花(芳香のある白蝶型) 葉(奇数羽状複葉) 蜜源植物
40	ウリカエデ	ムクロジ科	カエデ属	落葉小高木 雌雄異株 樹皮の色・模様がウリに似るからの名 カエデの仲間では最も葉が小さい 黄葉 果実(翼果)
41	ネグンドカエデ	ムクロジ科	カエデ属	落葉高木 アメリカ原産 雌雄異株 シロップ(イタヤカエデよりも甘い) 挿し木で増やせる 果実(翼果) 葉(奇数羽状複葉 長い葉柄)
42	マルバアオダモ	モクセイ科	トネリコ属	落葉高木 雌雄異株 葉(奇数羽状複葉 対生) 花(円錐花序をだし多数つける) 果実(翼果) 野球のバット
43	タムシバ	モクレン科	モクレン属	落葉小高木 別名ニオイコブシ 花(芳香あり 直径6~10cm 白色6弁 花の下に葉がなくコブシは葉がある) コンパス樹
44	アオハダ	モチノキ科	モチノキ属	落葉高木 雌雄異株 樹皮をむくと青色の木肌をしているので付いた名 葉(食用 お茶に使用) 果実(球形の赤色)
45	サカキ	モッコク科	サカキ属	常緑小高木 葉(つややかで厚みがある 互生 全縁) 花(下向きに白い小さな花) 神棚や祭壇に供えるなど神事に使用
46	アカメヤナギ	ヤナギ科	ヤナギ属	落葉高木 水湿地に生育 雌雄異株 別名マルバヤナギ(葉が丸いので) 枝(枝垂れず斜めに伸びる) 新葉は赤味を帯びる
47	ツチアケビ	ラン科	ツチアケビ属	葉緑素を持たない腐生植物 日本固有種 ナラタケと共生 果実(生薬 大きな真赤な果実でよく目立つ) 今回は去年の枯姿だった
48	オオバノトンボソウ	ラン科	ツレサギソウ属	多年草 草丈50~60cm 葉(根元に2~3枚が大きく上のものほど小さい) 花(黄緑色で穂状につく) 茎(翼付きの稜がある)
49	モジズリ (写真①)	ラン科	ネジバナ属	多年草 別名ネジバナ 日当たりのよい草地に生育 花(小さなピンクの花が螺旋状につく)
50	リョウブ	リョウブ科	リョウブ属	落葉小高木 別名ハタツモリ 花(白 総状花序) 若菜(食用) 幹(サルスベリヤナツツバキのように樹皮が剥離してまだら模様になる)
51	コバノガマズミ	レンブクソウ科	ガマズミ属	落葉低木 葉(葉柄がごく短い 鋭い鋸歯 両面に星状毛あり) 花(散房花序 小さな白う花を多数つける) 果実(赤くて球形)
動物界 昆虫綱				
1	ハッチョウトンボ (写真⑨)	トンボ科	ハッチョウトンボ属	湿地や湿原に生息 体長17~21mmで極めて小さい オス(成熟すると体全体が鮮やかな赤色 縄張りを作る) メス(茶褐色)
動物界 昆虫綱				
1	アカヒゲドクガ (写真④)	ドクガ科	Calliteara Butler	幼虫(体長45mm程度 先端が羽毛状の毛がある) 成虫(開張51~70mm) クヌギ・コナラ・クリなどの葉を食害する
動物界 鳥綱				
1	ハンボンガラス (写真⑩)	カラス科	カラス属	留鳥 全長50cm 全身が光沢のある黒色 知能高い 雑食 歩くのが大好き お辞儀しながら「ガーガーガー」
2	トビ (写真⑩)	タカ科	トビ属	留鳥 猛禽類 全長60~65cm 体色(褐色と白のまだら模様) 上昇気流を利用して輪を描くように滑空 動物の死体などを食べる自然界の掃除屋さん
動物界 両性綱				
1	モリアオガエル (写真②)	アオガエル科	アオガエル属	オス(体長40~70mm) メス(60~80mm) 夜行性 池の張り出した木の枝などに白い卵塊を産み付ける

2019年7月5日



① モジズリ



② モリアオガエルの卵塊



③ オニスゲ



④ アカヒゲドクガの幼虫



⑤ 丸山湿原群の第1湿原



⑥ ノギラン



⑦ ハナショウブ



⑧ ミカヅキグサ



⑨ ハッコウウトンボ



⑩ ハシボソガラスがトビを威嚇



⑪ 西谷の森公園で休憩

[武田先生と里山を歩こう会] 植物観察会実施報告書 (8月特別開催)

作成 2019年8月12日 担当 太田垣忠興 白田修

テーマと行き先	8月の伊吹山の高山植物
観察行動	スカイテラス駐車場 1,260m (13:35) ~西登山道コース~山頂 1,377m (15:00) ~中央登山道コース~スカイテラス駐車場 (15:50)
実施日・天気	2019年8月7日 (水) (快晴)
バス行程の概要	(往路: 5時間) 三宮→阪神高速→西名阪→名阪国道→東名阪→四日市→国道 306 →国道 365→関ヶ原→伊吹山ドライブウェイ→伊吹山スカイテラス駐車場 (帰路: 3時間 40分) 伊吹山スカイテラス駐車場→伊吹山ドライブウェイ→関ヶ原 →名神→阪神高速→三宮 (旅行社; クラブツーリズム)
集合時刻 集合場所	8:00 三宮東遊園地
解散時刻 解散場所	20:15 三宮ラウンド1前
費用	バス代他7,500円 (オプション保険500円別途)
参加人数	15人

台風8号と9号の狭間で快晴の中、気温24度涼風の天空の花園で日頃はなかなか見れない数々の高山植物について、武田先生に懇切に教えていただきました。(先生に解説をいただいた植物名は、一覧表に記載のとおりです。)

往路は名神京都東付近の事故渋滞を避けるため、伊賀上野・四日市経由の大迂回となったことで到着は大幅に遅れたが、山上での自由時間は3時間が確保され、植物観察には十分の時間でした。ただし、その分帰着は遅くなり、三宮到着は20時15分、夏休み真っ最中のバスツアーの難点体験でした。

帰路のバス中で先生から高山植物についての説明を受けましたので、以下に記します(近隣席以外の方には聞こえなかったと思いますので)。

「高山植物は、植物同士の生存競争には弱く、樹木の育つような通常的环境では生存競争に負けて生存できない。しかし、多雪・低温・強風等の高山地帯や貧栄養の岩場等の環境ストレスには強く、樹木等が生き残れない高ストレスの環境では、高山植物のみが生き残ることができる。」

という内容だったと思います。

イブキトラノオ

イブキフウロ

ノリウツギと上弦の月



観察植物一覧表

	名 前	科	属	説 明
1	イブキトラノオ ⑥	タデ科	イブキトラノオ属	
2	クサタチバナ	ガガイモ科	カモメヅル属	
3	クガイソウ ②	オオバコ科	クガイソウ属	輪生葉 (4~8 枚)
4	ルリトラノオ ③	オオバコ科	ルリトラノオ属	対生葉 (十字)、花はクガイソウに似る
5	シモツケソウ ④⑤	バラ科	シモツケソウ属	
6	サラシナショウマ	キンポウゲ科	サラシナショウマ属	蕾、斜面一面に群落形成 (8 月下旬見頃か)
7	コアカソ	イラクサ科	ヤブマオ属	多数有り
8	シオガマギク	ハマウツボ科	シオガマギク属	
9	キヌタソウ	アカネ科	ヤエムグラ属	
10	クサボタン	キンポウゲ科	センニンソウ属	クレマチスの仲間
11	イワアカバナ	アカバナ科	アカバナ属	
12	トモエソウ	オトギリソウ科	オトギリソウ属	黄色の巴形状の花弁
13	メタカラコウ	キク科	メタカラコウ属	
14	ヤマアジサイ	アジサイ科	アジサイ属	ほぼ咲き終わり
15	キオン	キク科	キオン属	
16	クルマバナ	シソ科	トウバナ属	花弁薄紫、萼紫色を帯びる
17	ヤマトウバナ	シソ科	トウバナ属	花弁白色、萼紫色を帯びない
18	コオニユリ ⑫	ユリ科	ユリ属	
19	ヤマホタルブクロ	キキョウ科	ホタルブクロ属	萼片湾入部膨む (ホタルブクロは萼反返る)
20	カワラナデシコ	ナデシコ科	ナデシコ属	秋の七草
21	ミヤマコアザミ	キク科	アザミ属	花は茎頂に一つづつ
22	コイブキアザミ	キク科	アザミ属	花のつき方が密
23	マルバダケブキ	キク科	メタカラコウ属	ウラギンヒョウモンが吸密訪花中
24	キリンソウ	ベンケイソウ科	キリンソウ属	
25	ヒメフウロ	フウロソウ科	フウロソウ属	小さな花
26	エゾフウロ ⑦	フウロソウ科	フウロソウ属	花弁に切れ込みなし、萼に毛あり
27	ハクサンフウロ ⑨	フウロソウ科	フウロソウ属	花弁に切れ込みなし、萼に毛なし
28	イブキフウロ ⑧	フウロソウ科	フウロソウ属	花弁が切れ込み 3 つに分かれる
29	ウツボグサ	シソ科	ウツボグサ属	花は終了
30	シシウド	セリ科	シシウド属	
31	ミヤマトウキ	セリ科	シシウド属	
32	イブキボウフウ	セリ科	イブキボウフウ属	
33	ツリガネニンジン	キキョウ科	ツリガネニンジン属	

34	コバノギボウシ ⑪	ユリ科	ギボウシ属	葉が小さい
35	オオバギボウシ	ユリ科	ギボウシ属	葉が大きい
36	ワレモコウ	バラ科	ワレモコウ属	
37	シュロソウ	ユリ科	シュロソウ属	
38	ダイコンソウ	バラ科	ダイコンソウ属	上部の葉は単葉
39	イグサ	イグサ科	イグサ属	
40	キバナノカワラマツバ	アカネ科	ヤエムグラ属	
41	イブキジャコウソウ⑩	シソ科	イブキジャコウソウ属	
42	ミツモトソウ	バラ科	キジムシロ属	3 出複葉
43	キンミズヒキ	バラ科	キンミズヒキ属	
44	フジテンニンソウ	シソ科	テンニンソウ属	
45	ウバユリ	ユリ科	ウバユリ属	
46	ヤマガラシ	アブラナ科	ヤマガラシ属	
47	ヒヨクソウ	オオバコ科	クワガタソウ属	
48	マムシグサ	サトイモ科	テンナンショウ属	
49	イブキトリカブト	キンポウゲ科	トリカブト属	蕾はまだつかず
50	ヒメノガリヤス	イネ科	ノガリヤス属	
51	ベンケイソウ	ベンケイソウ科	ベンケイソウ属	
	[木本]			
52	マユミ	ニシキギ科	ニシキギ属	サラシナショウマの群落にポツポツと単立
53	ムシカリ	レンブクソウ科	ガマズミ属	別名：オオカメノキ
54	オオイタヤマイゲツ	ムクロジ科	カエデ属	葉に毛なし、ハウチワカエデは葉に毛あり
55	ウリハダカエデ	ムクロジ科	カエデ属	
56	ノリウツギ	アジサイ科	アジサイ属	白花が盛り

(補足) 武田先生から、現地説明時の花の名称の一部に訂正があるとのことご連絡をいただきました。上記は訂正後の花名を記載しています。具体的には、2番クサチバナ(フナバラソウから)、21番ミヤマコアザミ(イブキアザミから)、37番シュロソウ(ホソバシュロソウから)、47番ヒヨクソウ(クワガタソウから)、51番ベンケイソウ(ホソバベンケイソウから)です。名前は変わっても科・属は変わらないという事実に驚きです(シロウト記録者の感想ですが・・・)。

以上



① 伊吹山



② クガイソウ



③ ルリトラノオ



④ シモツケソウの花畑



⑤ シモツケソウ



⑥ イブキトラノオ



⑦ エゾフウロ



⑧ イブキフウロ



⑨ ハクサンフウロ



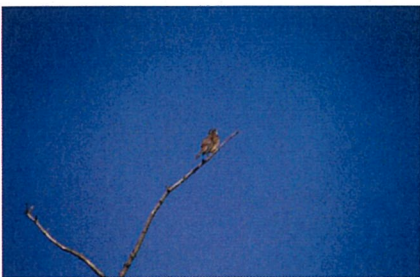
⑩ イブキジャコウソウ



⑪ コバギボウシ



⑫ コオニユリ



⑬ ホオジロ

〈武田先生と里山を歩こう〉

植物観察会実施報告書

作成 2019年9月18日 担当 山末 勝子、丸山 公子

・ <u>テーマと行き先</u>	西宮の北山緑化植物園
・ <u>観察行動</u>	北山緑化植物園～北山貯水池～甲山湿原～甲山森林公園～ 関西学院大学～仁川駅
・ <u>実施日 天気</u>	2019年9月6日； 快晴 かなり暑い
・ <u>集合時刻 集合場所</u>	9:30 阪急西宮北口 さくらやまなみバス停留所
・ <u>解散時刻 解散場所</u>	17:10 阪急仁川駅
・ <u>費用</u>	バス代 220円
・ <u>参加人数</u>	21名

さくらやまなみバスに乗り、柏堂町（かやんどうちょう）で下車し、北山緑化植物園、北山山荘に入る。茶室は立札席も広間、打ち水がされており、花もちゃんと活けてあった。いつでも客を迎える用意がしてあった。植物園の池の周りに東屋があり机とベンチがありました。そこに座り込んだらもう早いけどお弁当にしましょうとなる。暑いのであんまり動き回りたくない気持ち。かなり休憩をする。

ここで帰る方と甲山湿原まで行く人と別れる。 4人帰宅。

あと17人で甲山湿原、甲山森林公園に向かう。西宮に住んでいながら西宮市内のことはあまり知らないの初めて行くことにする。北山貯水池まではかなりの登坂、甲山大師道、鷲林寺、甲山墓園前とか車で通ったことはあるが、歩いて通るのは初めてでした。

北山貯水池に来ると目の前に甲山がはっきりときれいに見える。甲山自然学習館で少し休憩。暑いので水分補給。甲山湿原に咲くサギソウ等が一輪咲いていた。8月の残り花だ。アカネ オミナエシ ワレモコウ サワギキョウ サワヒヨドリ キセルアザミ アブラガヤ ガンクビソウ ヤクシソウ ナツツバキ 等々。

ワレモコウやオミナエシはなかなか見られない草花が西宮の自然の中で咲いているのは大変貴重な場所だと思います。甲山湿原は甲山の斜面の林からしみだした地下水が粘土層の上にある花崗岩の砂地の中に溜まって湿地になり、西宮の生物保護地区に指定され、西宮市の天然記念物になっています。

そこから関西学院まで歩いて、喫茶店で休憩する。冷たいコーヒーを飲んで少し元気になったので、仁川駅まで歩いて帰ることにする。仁川駅にて解散する。

汗びっしょりの一日でした。

2019年9月6日 西宮北山植物園

1	ピンポンノキ	アオイ科	ピンポンノキ属	常緑高木 中国原産 卓球とは無関係 葉(光沢あり 互生) 花(小さな変わった白い花) 果実(袋果、甘くない栗のような味)
2	アカネ (写真⑦)	アカネ科	アカネ属	つる性多年草 茎(下向きの棘あり) 葉(輪生する4枚の葉が目立つ)根(赤い染料が採れる) 生薬
3	ノリウツギ	アジサイ科	アジサイ属	落葉低木 樹液を和紙を漉く際の糊に利用したので付いた名 花(円錐花序を彩るのは装飾花の萼片)
4	ウド	ウコギ科	タラノキ属	多年草 草丈1~1.5m 花(白い花が夏球形につく) 茎(小さな棘) 香りが高く山菜として好まれる
5	ヒメカンアオイ	ウマノスズクサ科	カンアオイ属	多年草 草丈地を這う 日本固有種 ギフチョウの幼虫の食草 葉柄の付け根に地面に接するように花を付ける
6	ウラジロ	ウラジロ科	ウラジロ属	シダ植物 葉の裏が白いから付いた名 湿潤地を好む 群落を作る 黄緑色の2列のソーラス 正月のお飾りに使用
7	コシダ	ウラジロ科	コシダ属	常緑多年生シダ植物 群落を作る ウラジロより葉小型 裏白い 葉が繰り返して二叉分枝する
8	オミナエシ (写真⑩)	オミナエシ科	オミナエシ属	多年草 秋の七草 草丈60~100cm 葉(対生) 花(黄色い小花を散房状に咲かせる) 漢方や生薬に
9	シダレカツラ	カツラ科	カツラ属	落葉高木 カツラの突然変異による変種 枝は幹から急角度で全部下垂 盛岡で発見され天然記念物となっている
10	アブラガヤ	カヤツリグサ科	クロアブラガヤ属	多年草 株立ち 草丈1~1.5m 花序が油光して油ぐさいので付いた名 茎(純3稜形) 葉鞘(びったりと茎を包む)
11	サワギキョウ (写真⑪)	キキョウ科	ミゾカクシ属	多年草 湿地に生育 有毒植物 茎(中空で直立) 葉(螺旋状に互生) 花(総状花序 青紫)
12	ヤクシソウ	キク科	オニタビラ属	越年草 草丈30~120cm 花(頭花は黄色の舌状花のみ) 葉柄(基部は張り出し茎を抱く)
13	サウヒヨドリ	キク科	ヒヨドリバナ属	多年草 湿ったところに生育 草丈50cm 葉(対生 無柄) アサギマダラの食草 ヒヨドリバナに比べて全体に小型
14	ヒヨドリバナ (写真⑥)	キク科	ヒヨドリバナ属	多年草 草丈60~120cm 葉(葉柄あり 対生 乾かすと桜の匂い) ヒヨドリがなくなると開花するからの名
15	ガンクビソウ	キク科	ヤブタバコ属	多年草 草丈25~150cm 舌状花を持たない地味な頭花の姿と茎が折れ曲がっている様子がキセルの雁首に似ているのでついた名
16	キバナガンクビソウ	キク科	ヤブタバコ属	多年草 キセルの形に似ているので付いた名 花(枝先に1つずつ 黄色筒状花のみ) 茎(軟毛が密生)
17	レンゲショウマ	キンポウゲ科	レンゲショウマ属	多年草 日本特産の1属1種の花 花が蓮に葉がサラシナショウマ似る花(藤紫) 森の妖精・シャンドリアと言われる
18	ヤマグワ	クワ科	クワ属	落葉小高木 雌雄異株 葉(いろいろな形 互生) 実(集合果 赤から黒へ) 枝や葉を傷つけると白い乳液を出す
19	ヒメジソ	シソ科	イヌコウジュ属	一年草 草丈20~60cm 茎(4稜形 直立 下向きの毛) 花(淡紅色から白 唇形) 全体に毛が多い
20	クサギ	シソ科	クサギ属	落葉小高木 葉に悪臭があることからの名 先駆植物 果実(赤く平開した萼5片に瑠璃色の実が目立つ)
21	ミツマタ	ジンチョウゲ科	ミツマタ属	落葉低木 中国原産 花(三又に分かれた枝先に黄色の花 芳香あり) 樹皮(良質の和紙の原料 紙幣にも使用) 万葉集にも登場
22	コウホネ	スイレン科	コウホネ属	水生の多年草 草丈10~40cm 根茎のゴツゴツした感じが骨に似ているので付いた名 花(5cmほど 黄色の5枚のがく片) 葉(厚くて光沢あり) 生薬
23	ミズヒキ	タデ科	イヌタデ属	多年草 草丈50~80cm 上から見ると赤く、下から見ると白く見える萼片を紅白の水引に見立てた
24	アオツツラフジ (写真⑧)	ツツラフジ科	アオツツラフジ属	つる性落葉木本 別名カミエビ 葉(互生 変化多い) 花(円錐花序 小さな黄白色) アンモナイト型の核 有毒植物
25	ナツツバキ	ツバキ科	ナツツバキ属	落葉高木 別名シャラノキ 幹(つるつる) 花(ツバキに似た白い花) お釈迦様の「沙羅双樹」は全く別の熱帯樹
26	デンジソウ (写真④)	デンジソウ科	デンジソウ属	多年生の夏緑シダ 「田字草」 絶滅危惧Ⅱ類 四葉のクローバーのような形の一見水草に見える
27	ハンゲショウ	ドクダミ科	ハンゲショウ属	多年生 草丈50~100m 花(穂状花序) の咲くころに葉の一部が白くなるが、花が終わると緑になる
28	マテバシイ	ブナ科	マテバシイ属	常緑高木 雌雄同株 葉(大きな皮質 互生 全緑) 花(6月に木全体が黄色くなるようにつける) 古くから食料とされた
29	クズ	マメ科	クズ属	つる性多年草 秋の七草 基部は木質、上部は草質 根(くず粉・漢方に利用) 花(秋に赤紫色蝶形の総状花序)

30	ナツフジ	マメ科	ナツフジ属	つる性落葉木本 夏に花を咲かせることからの名 葉(奇数羽状複葉) 花(蝶型 淡黄白垂れ下がる) 日本固有種
31	キハギ	マメ科	ハギ属	落葉低木 枝垂れずに木立ちになることからの名 葉(2列互生) 花(総状花序 白に紫の斑の蝶型)
32	ツクシハギ	マメ科	ハギ属	落葉半低木 花(総状花序 淡紫 葉の上に突き出る 花柄(短い) 葉(螺旋状の互生) 日本固有種
33	マルバハギ	マメ科	ハギ属	落葉低木 特徴(葉が丸いことと、花の房が長く伸びない) 葉(3小葉 螺旋状の互生)
34	ヤマハギ	マメ科	ハギ属	落葉半低木 秋の七草 花(総状花序 赤紫色 蝶型 花柄が短い) 葉(螺旋状の互生) 万葉集に141首読ま詠まれている
35	ネグンドカエデ	ムクロジ科	カエデ属	落葉高木 北アメリカ原産 雌雄異株 葉(奇数羽状複葉 鳥の羽に似た形) 花(葉より早く垂れ下がった黄緑色の花がつく)
36	トガクシショウマ	メギ科	トガクシショウマ属	多年草 日本特産の1属1種 絶滅危惧II類 花(淡紫色の萼片を下向きにつける)「ブナの妖精」とも呼ばれる 戸隠山で発見された
37	ハクモクレン	モクレン科	モクレン属	落葉低木 コンバス植物 花(展葉前に芳香のある白い大きな花をつける) 葉(互生) 中国原産
38	ヒサカキ	モッコク科	ヒサカキ属	常緑小高木 葉(皮質 つやが強い 先端くぼみあり) 花(クリーム色 壺状で多数ぶら下がる) 墓や仏壇へのお供えや玉串に使用
39	ハマヒサカキ	モッコク科	ヒサカキ属	常緑小高木 海岸近くに多く乾燥に強い 葉(ヒサカキより小さく丸い 光沢が著しい) 黒い実(都市ガスのような匂いがある)
40	エビネ	ラン科	エビネ属	常緑多年草 草丈20~40cm 菌と共生(種を挿しても普通発芽しない) 多数の品種が揃う山野草
41	サギソウ (写真⑫)	ラン科	サギソウ属	多年草 日当たりのよい湿地に生育 草丈(15~40cm) 葉(互生 下部のものほど大きく本部を抱く) 準絶滅危惧種 姫路市の花

動物界 両性綱

1	モリアオガエル (写真③)	アオガエル科	アオガエル科	日本固有種 産卵は集団で泡状の卵を池に突き出ている枝先に産む 体長(雄42~60mm 雌59~82mm) 体色(緑色)
---	------------------	--------	--------	---

動物界 昆虫綱

1	ヒメアカネ (写真⑤)	トンボ科	アカネ属	赤とんぼでは最少の種 体長(28~38mm) 成熟した雄(腹部が赤化して顔面は白くなる 縄張りを持つ) 成熟した雌(黄褐色)
---	----------------	------	------	--

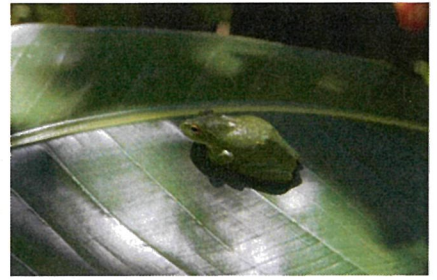
2019年9月7日



① 北山緑化植物園



② 北山山荘の庭園



③ モリアオガエル



④ デンジソウ



⑤ ヒメアカネ



⑥ ヒヨドリバナ



⑦ アカネ



⑧ アオツツラフジ



⑨ 甲山湿原



⑩ オミナエシ



⑪ サワギキョウ



⑫ サギソウ

「武田先生と里山を歩こう会」活動報告書(7)

作成日 2019/10/6

報告者 加瀬麗子 梶谷孝司

観察場所 兵庫県立三木山森林植物園

活動実施日 2019年10月4日(金曜日)

参加者 20名

台風で心配していた天候も、暑いぐらいの素晴らしい秋晴れになり、深緑の森の中で、万葉の時代から慕われた秋の七種をはじめ、数多くの草木を観察することができた。今回は公園内のレストランでバイキングを堪能、部員間の交流ができ有意義時間を過ごした。

オミナエシ



フジバカマ



ヤマハギ



ノコンギク



カワラナデシコ



オカメザサ



観察された草木たちの名前(一部)

アオツツラフジ

アカシデ

アズキナシ

アブラガヤ

アレチケツメイ

イヌタヌキモ

イヌハギ

オカメザサ

オガルカヤ

オトコヨモギ

オミナエシ

ガガブタ

カツラ

キツネノマゴ

クサギ

クス

コシアブラ

コジイ

サワヒヨドリ

シラカシ

ススキ

タヌキマメ

タムラソウ

チカラシバ

ツリガネニンジン

ツルマメ

ナデシコ

ナラガシワ

ナンバンギセル

ヌルデ

ネコハギ

ノコンギク

ヒメジソ

フジバカマ

マルバハギ

メドハギ

ヤブツルアズキ

ヤマハギ

ヤマハゼ

以上

2019年10月4日 三木山森林公園

1	ハナショウブ	アヤメ科	アヤメ属	多年草 草丈60~150cm江戸時代を中心に数多くの品種が育成され、現在2000以上 花色・形・咲き方が豊富 花(花卉の付け根が黄色)
2	キンエノコロ	イネ科	エノコログサ属	一年草 草丈30~80cm 穂が黄金色であるために付いた名 葉(無毛基部だけに長毛あり) 花序の長さ3~10cmの円柱形
3	オカメザサ	イネ科	オカメザサ属	常緑タケ類 日本原産 樹高1~2m 日本のタケ類の中で最も小さいオカメの面をぶら下げて福笹とした
4	オガルカヤ	イネ科	オガルカヤ属	多年草 草丈50~100cm 小穂が180度開いて付く姿が特徴 群生しない ノギが短い
5	ジュズダマ	イネ科	ジュズダマ属	多年草 草丈80~150cm 雌雄同株 東南アジア原産 日当たりの良い湿地を好む 実の色は灰・黒・白・赤と変化に富む お手玉などの材料
6	チカラシバ	イネ科	チカラシバ属	多年草 草丈15~40cm カ一杯引張ってもなかなか抜けないことからの名 黒紫色のボトルブラシのような花穂
7	マコモ	イネ科	マコモ属	多年草 草丈100~250cm 水辺に群生 食用部分は新芽の根元(マコモタケ)と種子(ワイルドライス)
8	メガルカヤ	イネ科	メガルカヤ属	多年草 草丈70~150cm 別名カルカヤ 節くれだった根茎があり叢生する ノギ(長くて太い 赤褐色) 屋根を葺くのに使用された
9	メリケンカルカヤ	イネ科	メリケンカルカヤ属	多年草 アメリカから侵入したカルカヤと名付けられた 草丈50~100センチ 茎は株を作り群生する 種子(秋に白い綿毛で散布)
10	コシアブラ	ウコギ科	ウコギ属	落葉高木 葉(掌状複葉 30センチの葉柄) 花(淡黄緑の小さい花を多数つける) 落葉前半透明のような白色になり目立つ 山菜
11	タカノツメ	ウコギ科	タカノツメ属	落葉高木 雌雄異株 別名イモノギ(材が白くて柔らかいので) 葉(3出複葉 枝先に束生常につく 葉柄長く赤みを帯びる) 山菜
12	ウチワゼニクサ	ウコギ科	チドメグサ属	多年草 湿地に生育 群落 北アメリカ原産 葉(円形の葉身の中央に葉柄) 花(白緑の5弁花を輪生) 別名ウオーターマッシュルーム
13	ヤマハゼ	ウルシ科	ウルシ属	落葉小高木 雌雄異株 葉(奇数羽状複葉 互生 有毛) 花(黄緑色の小さな花を円錐状に多数つける) 樹皮を使って染色した
14	ヌルデ	ウルシ科	ヌルデ属	落葉小高木 雌雄異株 幹を傷つけると白いウルシ液を出しヌルヌルするので付いた名 葉(奇数羽状複葉 葉軸に翼) 先駆種
15	コシダ	ウラボシ科	ウラボシ属	常緑多年生シダ植物 草丈50~200cm ウラボシと似ているが小型で葉が繰り返し二又分枝する 群落を作る
16	オミナエシ (写真⑥)	オミナエシ科	オミナエシ属	多年草 秋の七草 草丈60~100cm 花(黄色の小さな花が群がり咲く散房花序) 万葉集や源氏物語にも登場 根は生薬
17	アカシデ	カバノキ科	クマシデ属	落葉高木 雌雄同株 新芽が赤く幹・葉も赤みを帯び、長く垂れ下がる雄花が紙垂に似ることからの名
18	イヌシデ	カバノキ科	クマシデ属	落葉高木 雌雄同株 雄花の垂れる様子が四手(紙垂)に似る シデの中でもこれといった特徴がないので「劣る」を意味するイヌをつけた
19	ヒメガマ	ガマ科	ガマ属	多年草 抽水植物 全高1.3~2m 雄花の穂(長さ8~22cm)と雌花の穂(11~25cm)が、離れて付く(1.5~7cm)
20	アブラガヤ	カヤツリグサ科	アブラガヤ属	多年草 湿地に生育 草丈100~150cm 株立ち 茎(鈍い3稜形 太くて硬い) 葉鞘はびったりと茎を抱く
21	ヤマイ	カヤツリグサ科	テンツキ属	多年草 やや湿ったところに生育 草丈7~60cm 茎は叢生 細い茎の先に1つだけ小穂をつける 山に生えるイグサの意味の名
22	ツリガネニンジン	キキョウ科	ツリガネニンジン属	多年草 草丈40~100cm 根が朝鮮人参、淡紫色の花が釣鐘に似ているので付いた名 花(下向きに 花柱が長く突き出る) 茎を切る乳液が出る
23	ノコンギク (写真③)	キク科	シオン属	多年草 草丈50~100cm ヨメナに似ているが、茎や葉がざらつき、果実の冠毛が長い 花(舌状花淡青紫色 直径2cm)
24	ヨメナ	キク科	シオン属	多年草 野菊の1種 草丈50~120cm 花(直径3cm 白~青紫色舌状花 黄色の筒状花) 果実の冠毛は短い 日本固有種
25	メリケントキンソウ	キク科	タカサゴトキンソウ属	南米原産の外來種 草丈5~10cmで地を這うように生える 果実には2ミリ位の棘があり、肌を刺す 5~6月結実して危険な時期である
26	タムラソウ	キク科	タムラソウ属	多年草 花(筒状花のみ 紅紫) 茎(直立 棘無し 有毛) 葉(棘無し) 夏の花のアザミに似ているが秋の訪れを告げる花
27	サワイヨドリ	キク科	ヒヨドリバナ属	多年草 草丈40~80cm 湿地に生育 頭花(淡紫色まれに白密な散房状) 特徴(①葉が対生②葉柄が無い③単葉が深3裂) アサギマダラが吸蜜
28	ヒヨドリバナ (写真⑦)	キク科	ヒヨドリバナ属	多年草 草丈60~120cm ヒヨドリがなく頃に花が咲くことからの名 アサギマダラが吸蜜 環境省絶滅危惧種指定
29	フジバカマ (写真⑧)	キク科	ヒヨドリバナ属	多年草 秋の七草 草丈100~150cm 桜餅のような芳香 クマリン アサギマダラが吸蜜 準絶滅危惧(N) 万葉集では1首のみ

30	オトコヨモギ	キク科	ヨモギ属	多年草 草丈50~130cm 果実がヨモギに比べて小さく、雌花だけが結実し両性花は結実しないからの名 ヨモギに比べるとほとんど無毛
31	ヨモギ	キク科	ヨモギ属	多年草 別名モチグサ(餅草) 草丈50~120cm 花(全て筒状花で花弁無し) 葉(表明るい緑 裏毛が密生 深裂) 食用・薬用
32	キツネノマゴ	キツネノマゴ科	キツネノマゴ属	一年草 草丈10~40cm 穂状の花穂をキツネの尾に見立てたことからの名 茎(4稜 有毛) 花(薄紅紫色の唇形)
33	アキノタムラソウ	シソ科	アキギリ属	多年草 草丈20~50cm 葉(奇数羽状複葉) 茎(4稜形直立 短毛と腺毛あり) 花(淡紫色の唇形を5~15段輪生)
34	イヌコウジュ	シソ科	イヌコウジュ属	一年草 草丈20~60cm 茎(4稜形赤味直立 細毛と腺毛あり) 花(淡紫色の唇形) 全体に細毛が多く赤みを帯びる 特有の匂いあり
35	ヒメジソ	シソ科	イヌコウジュ属	一年草 草丈20~60cm 茎(直立 下向きに曲がった毛4稜) 花(淡紅紫・白唇形)
36	クサギ	シソ科	クサギ属	落葉小高木 葉や茎を傷つけると嫌な臭いがするので付いた名 花(多集散花序 長いオシベ) 果実(赤い萼に碧色の核果が目立つ)
37	スイレン	スイレン科	スイレン属	水生多年草 葉(光沢・切れ込みあり 撥水性無し) 花と葉は水面上に浮かんだまま 日中に花を開き午後閉じるのを3日繰り返す
38	タコノアシ	タコノアシ科	タコノアシ属	多年草 草丈30~80cm 赤い実を付けた姿がタコの足の様になるので付いた名 泥湿地に生育 絶滅危惧II類
39	イヌタデ	タデ科	イヌタデ属	一年草 草丈20~50cm 別名アカマンマ 紅色の小さな花(実はガク)を多数つける ヤナギタデに比べると役に立たないタデで付いた名
40	イヌタヌキモ (写真⑩)	タヌキモ科	タヌキモ属	多年草 湖沼やため池に見られる浮遊植物 花(黄) 補虫嚢あり(動物プランクトンを捕まえて消化する)
41	ネジキ	ツツジ科	ネジキ属	落葉小高木 幹がねじれる 花(下向きに白いつぼ型) 有毒(特に葉の毒性が強い)
42	アオツツラフジ	ツツラフジ科	アオツツラフジ属	つる性落葉木本 葉(互生 全縁) 花(小さい黄白) 核(直径6mm アンモナイト形状 アルカロイドを含む)
43	ナンキンハゼ	トウダイグサ科	ナンキンハゼ属	落葉高木 中国原産 雌雄同株 菱形の秋の紅葉や冬の白い実が美しいので街路樹や庭園樹としてよく見る かつてロウを採っていた
44	トチカガミ	トチカガミ科	トチカガミ属	多年草 浮遊植物 湿地 雌雄同株 葉(厚く裏側の膨れた部分が浮袋の役目) 3弁の白い花 絶滅危惧種
45	カワラナデシコ (写真⑤)	ナデシコ科	ナデシコ属	多年草 草丈30~80cm 秋の七草 葉(対生 基部は茎を抱く) 花(直径4~5cm 5弁が細かく切れ込む 淡紅色) 茎(叢生して直立)
46	ハス	ハス科	ハス属	多年草水生植物 草丈水面から1.5~2m インド原産 葉(円形 葉柄が中央 撥水性) 根(レンコン) 花(早朝に咲き始めお昼には閉じるのを4日繰り返す)
47	ナンバンギセル (写真⑨)	ハマウツボ科	ナンバンギセル属	一年草 葉緑素を持たない寄生植物 全長15~50cm ススキなどイネ科の根に寄生 花(淡紫色の花を横向きに咲かす)
48	アズキナシ	バラ科	アズキナシ属	落葉高木 赤い果実が梨に似てアズキの様に小さいからの名 葉(規則正しい波状の明瞭な側脈がある 重鋸歯)
49	カスミザクラ	バラ科	サクラ属	落葉高木 桜の野生種の1種 葉(赤味を帯びない)と花が同時に展開 葉柄・花柄に短い毛あり 花(ほとんど白色 ヤマザクラより遅く開花)
50	ヤマザクラ	バラ科	サクラ属	落葉高木 桜の野生種の1種 葉(赤味を帯びる)と花が同時に展開 吉野山の桜 原種として品種改良された種も多い
51	ワレモコウ	バラ科	ワレモコウ属	多年草 草丈20~120cm 夏の終わりに長い花茎を伸ばし小さな楕円形の花穂をつける ピンクの花を上から順に咲かせていく
52	ヒカゲイノコヅチ	ヒユ科	イノコヅチ属	多年草 草丈50~100cm 日の当たらない所に生育 茎(四角形) 葉(対生) ヒナタイノコヅチと比べると、ほとんど無毛 ひつつき虫
53	ヒナタイノコヅチ	ヒユ科	イノコヅチ属	多年草 日向に育つ 茎(四角形) 葉(緑が捻じれるように波打つ) 全体に毛が多い 種(ひつつき虫)
54	シバグリ	ブナ科	クリ属	落葉高木 別名ヤマグリ くりの野生種 雌雄異株 縄文時代より食用に利用 実は小粒だが味がよい
55	カシワ	ブナ科	コナラ属	落葉中高木 葉(緑が波状 30cmを超えるものも 葉柄ほとんど無い) 端午の節句の柏餅に使用
56	コナラ	ブナ科	コナラ属	落葉高木 ミズナラより小さい葉の檜からの名 里山を代表する陽樹 薪炭に伐採後ひこばえを形成 葉柄(長い) 殻斗(取れそうなほど浅い)
57	ナラガシワ	ブナ科	コナラ属	落葉高木 雌雄同株 葉(互生 大型10~20cm 葉柄1~3cm 荒い大きな鋸歯 裏灰白星状毛密生) ミドリシジミの食草
58	コジイ	ブナ科	シイ属	常緑高木 別名ツブラジイ 雌雄同株 花(強い香りを放つ) 葉(表面光沢あり 裏側黄色く見える)
59	スダジイ	ブナ科	シイキ属	常緑高木 葉(表面光沢あり 裏面黄色く見える) 果実(殻斗に覆われている) プロッコリー状の樹形になり各地に巨木が残っている

60	アレチケツメイ	マメ科	カワラケツメイ属	一年草 草丈30~60cm 帰化植物 花(黄色 葉腋に付ける 5弁のうち下の1個が大きい) 蜜腺(キノコのような形で暗褐色)
61	カワラケツメイ	マメ科	カワラケツメイ属	一年草 草丈30~60cm 在来種 別名マメチャ・ネムチャ 葉(1回偶数羽状複葉) 花(黄色 マメ科だが蝶型にならない)
62	ヤブツルアズキ	マメ科	ササゲ属	つる性1年草 アズキの先祖 茎やつるに黄褐色の毛あり 葉(3小複葉で全緑)花(黄色 舟弁2枚合わさって渦のようにシベを包む)
63	ツルマメ	マメ科	ダイズ属	一年草 つる植物 葉(3出複葉) 茎(下向きの毛密生) 花(蝶型 赤紫) 実(黄褐色の毛 食用) 別名ノマメ 大豆の原種 豆果(食用) 在来種
64	タヌキマメ (写真④)	マメ科	タヌキマメ属	一年草 草丈20~70cm 全体に褐色の長毛 花(青紫色 蝶形1cm) 薬草 花を正面から見るとタヌキの顔のように見える 在来種
65	アレチヌスピトハギ	マメ科	ヌスピトハギ属	多年草 北アメリカ原産 草丈50~100cm 葉(3小葉有毛) 花(青紫蝶形) 節果(カギ状の棘 厄介なひっつき虫) 全体に有毛
66	ネムノキ	マメ科	ネムノキ属	落葉高木 葉(2回羽状複葉) 花(マメ科だが蝶形ではない 雄蕊が長く自立つ 桃のように甘い香り) 夜に葉を閉じ花が開く 根粒菌と共生
67	イヌハギ	マメ科	ハギ属	多年草 草丈60~150cm ハギに比べて地味なので付いた名 閉鎖花で自家受粉する 花(黄白蝶型) 全体に黄褐色の斜上する軟毛あり
68	ツクシハギ	マメ科	ハギ属	落葉半低木 日本固有種 花序が長いので葉の上に花が突きだす 葉(3出複葉) 花(翼弁が濃赤紫でほかの部分は白色 蝶型)
69	ネコハギ	マメ科	ハギ属	多年草 地を這うようにのびる 長さ30~100cm 全体に毛 葉(3小葉) 花(白い蝶型 旗弁紫色) イヌハギより葉小型で全体に軟毛多毛
70	メドハギ	マメ科	ハギ属	多年草 草丈60~100cm 葉(3出複葉) 花(黄白 旗弁に色紅紫の斑点 蝶型) 真っ直ぐに立つ姿が特徴的
71	ヤマハギ	マメ科	ハギ属	落葉低木 秋の七草 葉(3出複葉 丸い) 花(紅紫 蝶型 1cm位で遠目には目立たない) がく先がとがる 枝(垂れ下がらずに直立する)
72	ハナミズキ	ミズキ科	ミズキ属	落葉高木 別名アメリカヤマボウシ 1912年東京がサクラを送ったお礼にアメリカより送られた 花(花卉のような総苞の先端が凹む)
73	ガガブタ (写真⑩)	ミツガシワ科	アサザ属	多年草の水草 湖沼やため池に見られる浮遊植物 葉(5~20cm)の裂け目から深裂5弁の白くて毛の多い1日花(1.5cm)を咲かす
74	ユリノキ	モクレン科	ユリノキ属	落葉高木 北アメリカ原産 別名グンバイノキ 花(チューリップのような黄緑色の花を上向きに) 葉(軍配・奴さんのようなユニークな形)
75	カワヤナギ	ヤナギ科	ヤナギ属	落葉低木(高さ3~6m) 株立ち 川辺に自生 雌雄異株 若枝(紫緑色) 葉(細鋸歯) 葉と一緒に花が咲き花穂の色も緑色が強い
76	ネコヤナギ	ヤナギ科	ヤナギ属	落葉低木(高さ1~5m) 株立ち 川辺に自生 雌雄異株 若枝(灰色短毛) 葉(波状鋸歯) 銀白色に輝く花芽 花は葉に先立って展開する
77	ヤブカンゾウ	ユリ科	ワスレナグサ属	多年草 草丈80~100cm 花(直径8センチ橙赤色 一日花 八重咲 つばみ食用) ノカンゾウは一重咲き 根(所々紡錘上に膨らむ)
78	リョウブ	リョウブ科	リョウブ属	落葉小高木 花(芳香あり) かつて救荒植物 山火事の後になる 花の時期には樹幹が白い花で覆われる 樹皮もまだら模様で美しい

菌界 ハラタケ綱 ハラタケ目

1	コフキサルノコシカケ	マンネンタケ科	マンネンタケ属	多年性で数十年も生育して大きくなる 広葉樹の生木・切り株・枯れ木に着生 不食 薬用 ココア色 大型10~60cm
---	------------	---------	---------	--

動物界 昆虫綱 チョウ目

1	キタキチョウ (写真⑬)	シロチョウ科	キチョウ属	黄色い蝶 翅の表面の縁に黒色帯 モンシロチョウより一回り小さい(18~27mm) 食草(ネムノキなどのマメ類・ハギ類) 地面から給水する
2	ツマグロキチョウ	シロチョウ科	キチョウ属	大きさ(15~22mm) 黄色く、後翅に不明瞭な暗褐色の筋 幼虫の食草(カワラケツメイの葉のみ) 地面から給水する

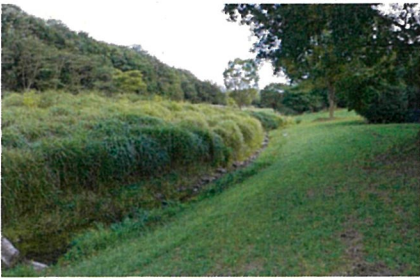
動物界 昆虫綱 トンボ目とバッタ目

1	アキアカネ	トンボ科	アカネ属	アカトンボの代表 種夏の間は高山で避暑し秋が近づくと里に降りる
2	コノシメトンボ (写真⑭)	トンボ科	アカネ属	翅の先が黒くなっているアカトンボ オスは成熟すると、頭部も含めて全身が赤くなる
3	ナツアカネ	トンボ科	アカネ属	アキアカネに似るがやや小さい オスは頭から尾の先まで真赤
4	マユタテアカネ (写真⑮)	トンボ科	アカネ属	スマートで可憐なアカトンボ 顔に肩をたてたような黒い紋があるので付いた名
5	ウスバキトンボ	トンボ科	ウスバキトンボ属	全体に淡い黄土色 アカトンボよりやや大きい 南国から来る
6	ハネナガイナゴ (写真⑯)	バッタ科	イナゴ属	体の側面に濃茶色の筋が入った明るい緑色 翅は腹端より長い イネ科の植物を食べる

動物界 鳥綱 ツル目

1	バン	クイナ科	Gallinula	留鳥 名前は「水田の番をする」という由来 ハト大で額が赤く、くちばしの先が黄色
---	----	------	-----------	---

2019年10月4日



① ススキ草原



② 創生チガヤ草原



③ ノコンギク



④ タヌキマメ



⑤ カワラナデシコ



⑥ オミナエシ



⑦ ヒヨドリバナ



⑧ フジバカマ



⑨ ナンバンギセル



⑩ イヌタヌキモ



⑪ ガガブタ



⑫ コノシメトンボ



⑬ キタキチョウ



⑭ ハネナガイナゴ



⑮ マユタテアカネ

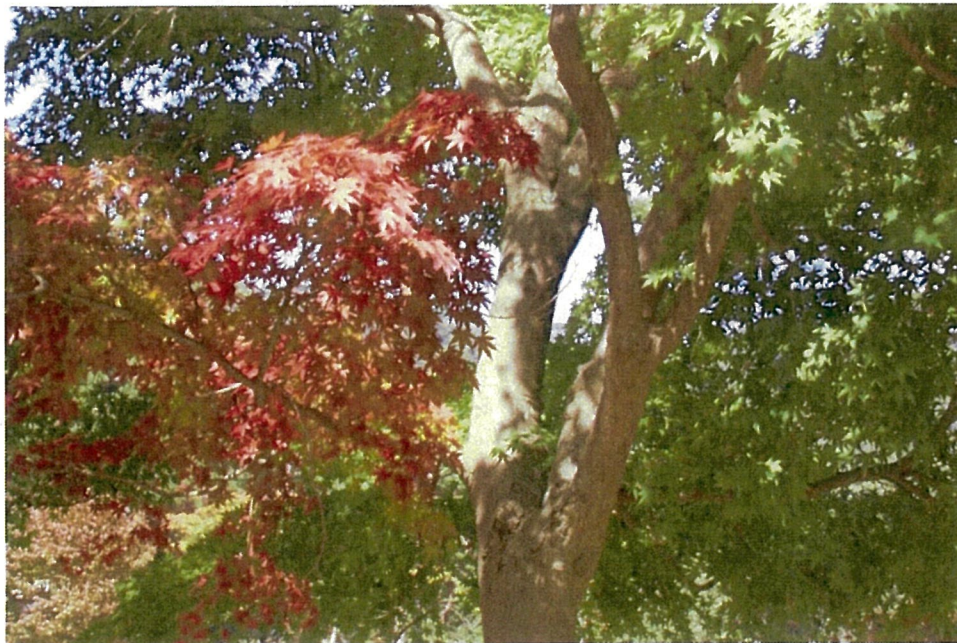
[武田先生と里山を歩こう会] 植物観察実施報告書

作成 2019年11月22日

担当 永井百合子 小池敏予

テーマと行き先	11月の剣谷湿原界隈の自然
行動地域	奥池、ごろごろ岳と剣谷湿原界隈の湿原を中心に観察
実施日・天気	2019年11月1日 (快晴)
コースの概要	JR芦屋駅南口→バス→阪急芦屋→奥池公園口→ごろごろ岳→剣谷湿原→奥池公園口
集合時刻 集合場所	9:20 JR芦屋駅南口
解散時刻 解散場所	15:10 奥池公園口
総歩数	約15,000歩
費用	バス代往路¥380、帰路¥380
参加人数	14人

天候に恵まれ、11月とは思えない、汗ばむほどの陽気でした。イチジクコバチの幼虫をルーペで観察。でも標高500mの、このあたり、もう紅葉がはじまっていた。紅葉は「アントシアニン色素」の説明を受けながら、しばし紅葉狩り。「あっ！ルリタテハが飛んできた！」幸運の兆し。ヒメアカネも一行に付かず離れず飛び交う奥池を半周して、565mのごろごろ岳を目指し、登りはじめました。大した標高差がないのに、足の短いものには辛い急勾配、ごろごろ岩の続く山道でした。とうとう絶景の期待される山頂前に昼食タイム。さて本日のメイン、湿原へ。笹に埋まる獣道を迷い迷って、やっと剣谷湿原らしき所に到着したものの連日の雨で湿原は水びたし。諦めて別の名もなき湿原に、やっと分け入ることができました。そこに見たウメバチソウとリンドウの本当に清楚な姿は、感激しました。



イロハモミジ



ヒメアカネ



ウメバチソウ



リンドウ

2019年11月1日 剣谷湿原

1	ツルアリドオン	アカネ科	ツルアリドオン属	常緑多年草 地面を這うつ性 長さ10~30cm 白の花は2~3つ咲くが赤い実は1つ付ける アリドオン(別名は1両)も赤い実をつける
2	ゴトウヅル	アジサイ科	アジサイ属	落葉性つる性木本 別名ツルアジサイ・ツルデマリ 落葉性つる性木本 茎(気根を出して樹木に這い登る) 花(白の装飾花萼片は3~4枚)
3	ノリウツギ	アジサイ科	アジサイ属	落葉低木 花(円錐形の花序 白い装飾花) 茎(空洞ではなく隋が詰まる) アジサイより開花遅い 和紙を漉く時の糊を取った
4	チゴユリ	イヌサフラン科	チゴユリ属	多年草 草丈15~40cm 花(茎の先に小さな白い花を1~2個下向きに付ける) 実(青黒)
5	ヌマガヤ	イネ科	ヌマガヤ属	多年草 草丈40~100cm 貧栄養性湿地に生育 茎(直立する 叢生) 葉(線形 長さ20~50cm) 在来種 全草無毛
6	コシアブラ	ウコギ科	ウコギ属	落葉高木 葉(互生 掌状複葉 落葉前に葉緑素が抜けて白色に) 幹から樹脂を採り漉して塗料として使用したため名 若葉山菜
7	タカノツメ	ウコギ科	タカノツメ属	落葉高木 雌雄異株 葉(互生 3出複葉 毛叢あり 短枝に束生状につく) 冬芽が鷹の爪を連想させると付いた名
8	アリマウマノスズクサ	ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ属	つる性1年草本 花(サキソフンのような形状) 葉(独特な形状) 有馬で最初に発見された ジャコウアゲハの食草
9	ハゼノキ	ウルシ科	ウルシ属	落葉小高木 雌雄異株 別名リュウキュウハゼ・ロウノキ 有毒植物 葉(毛無し) 果実から木蠟を採った 全体に毛が少ない
10	ヤマウルシ	ウルシ科	ウルシ属	落葉高木 有毒植物 雌雄異株 葉(奇数羽状複葉 真赤に紅葉 中軸が赤褐色) 樹液・枝葉にかぶれる
11	ヤマハゼ	ウルシ科	ウルシ属	落葉小高木 雌雄異株 有毒植物 葉(奇数羽状複葉 毛有り) 樹皮を使って染色した 体質によりかぶれるが毒成分は少ない
12	ヌルデ	ウルシ科	ヌルデ属	落葉小高木 別名フシノキ・カチノキ 葉軸(翼あり)果実(熟すと塩味がする) 虫こぶ(タンニンが多量に含まれ貴重な天然塗料になる)
13	イトイヌノハナヒゲ	カヤツリグサ科	ミカヅキグサ属	多年草 草丈30cm以下 湿地に生育 小型で直立 小穂数が少ない 分花序のつく場所でジグザグに曲がる傾向がある
14	イヌノハナヒゲ	カヤツリグサ科	ミカヅキグサ属	多年草 草丈40~60cm 花茎は比較的強く直立する傾向 分花序は花茎の上部に集まる 果実の刺針には上向きの微細な突起
15	オオイヌノハナヒゲ	カヤツリグサ科	ミカヅキグサ属	多年草 草丈30cm~70cm 花茎は比較的強く直立する傾向 分花序は花茎の上部に集まる 剣谷湿原には無し
16	コイヌノハナヒゲ	カヤツリグサ科	ミカヅキグサ属	多年草 草丈 40~50cm 茎が細いので、他の植物に寄り添うような感じ 分花序は離れて付く
17	トラノハナヒゲ	カヤツリグサ科	ミカヅキグサ属	多年草 やや大柄な草(80cm) 根出葉が発達 花序はばらけた散房花序で垂れ下がる 剣谷湿原には無し
18	アキノキリンソウ	キク科	アキノキリンソウ属	多年草 草丈30~80cm 別名アワダチソウ 日本固有種 茎の先に多数の黄花を泡立つようにつける 茎(上向きの曲がった毛)
19	ヤクシソウ (写真①)	キク科	オニタビラ属	二年草 草丈30~120cm 葉(互生 基部で茎を抱く) 花(黄色 舌状花のみ) 白い汁を出す
20	イナカギク	キク科	シオン属	多年草 草丈45~85cm 別名ヤマシロギク 茎や葉ピロードの様 舌状花白 筒状花黄 葉の基部がやや茎を抱く 在来種
21	シラヤマギク	キク科	シオン属	多年草 草丈100~150cm 別名ムコナ 茎・葉に短毛あり 頭花(白舌状花はまばらにつく)
22	シロヨメナ	キク科	シオン属	多年草 草丈30~100cm 白菊の仲間 秋の花 タンポポのように綿毛の付いた種をつける
23	ノコンギク	キク科	シオン属	多年草 草丈50~100cm ヨメナに非常に似ている 茎・葉(毛ざらつく) 舌状花(淡青紫色) 日本固有種
24	センボンヤリ (写真⑥)	キク科	センボンヤリ属	多年草 草丈(春5~20cm 秋30~60cm) 頭花は春(紫色)と秋(閉鎖花毛槍のような穂先に)に2回は花を付ける
25	ツワブキ	キク科	ツワブキ属	常緑多年生 草丈50cm 花茎60cm 海沿いの草原や崖に生育 葉(皮質 丸い) 花(花期は10~12月 黄色の頭花)
26	ヒヨドリバナ	キク科	フジバカマ属	多年草 草丈60~120cm 淡紫・白の小さな筒状花が集まって散房状に咲かず 葉(対生)
27	ナルコユリ	キジカクシ科	アマドコロ属	多年草 草丈50~130cm 花(3~5個 釣り鐘型で葉の基から垂れ下がる) 葉(互生) 茎(丸い) 実(黒)
28	クロモジ	クスノキ科	クロモジ属	落葉低木 樹皮(柑橘系に似た特有の香りがある 高級楊枝) 黄色の花と同時に葉が展開
29	アキグミ	グミ科	グミ属	落葉低木 雌雄同株 花(白色から黄色に) 葉(互生 鱗状毛あり) 枝(棘あり) 果実(11月~12月に赤色に熟す 食用 果実酒に利用)
30	エフクレタヌキモ (写真⑦)	タヌキモ科	タヌキモ属	多年草 外来侵入植物 抽水性の食虫植物 葉(放射状に輪生) 茎(水中で分岐して長さ2m以上に) 花(鮮黄色)

31	アセビ	ツツジ科	アセビ属	常緑低木 「馬酔木」と書く 有毒植物 鹿が食べない 花(白壺型多数下向きに多数つける)
32	スノキ	ツツジ科	スノキ属	落葉低木 果実や葉に酸味があるための名 花(赤い筋のある緑白色の鐘形 下向きに) 果実(酸っぱい) 日本固有種
33	コバノミツバツツジ	ツツジ科	ツツジ属	落葉低木 ミツバツツジに比べて葉が小さいことからの名 漏斗形の紅紫の花は葉の展開前か同時 葉柄に褐色の長毛
34	モチツツジ	ツツジ科	ツツジ属	落葉低木 花(花弁5枚 濃紅色の斑点あり) 腺毛から粘着性の物質を出し昆虫の食害を防ぐ
35	ウメバチソウ (写真⑩)	ニシキギ科	ウメバチソウ属	多年草 草丈10~40cm 湿地に生育 根出葉(長い柄ハート型) 葉(茎を抱く) 花(2~2.5cm 白色で梅の花を思わせる)
36	ウラジロノキ	バラ科	アズキナシ属	落葉高木 葉の裏が白い(綿毛密生)のでの名 雌雄同株 花(5~6月に1~1.5cmの白い花) 果実(ナシ状果1cm 赤 生食可)
37	ミヤコイバラ	バラ科	バラ属	落葉低木 樹高0.5~1m 葉(互生 奇数羽状複葉 無毛) 葉軸(棘・腺あり) 花(白色5弁花を多数つける 2~3cm) 実(赤色 球形)
38	アカガシ	ブナ科	コナラ属	常緑高木 葉(互生 無毛 全縁) どんぐり(2年かかる 殻斗に同心円状の環が10個ほど並ぶ)
39	ヌスビトハギ	マメ科	ヌスビトハギ属	多年草 草丈60~120cm 果実の形が泥棒の足跡に似る(牧野) 葉(3出複葉) 花(淡紅色)節果にかぎ状の毛 ひっつき虫 在来種
40	ヤブマメ	マメ科	ヤブマメ属	つる性1年草本 在来種 葉(3小葉 葉柄にも毛あり) 果実(土の中でも閉鎖花をつけ1種子だけの豆果をつける)
41	イヌザンショウ	ミカン科	イヌザンショウ属	落葉低木 雌雄異株 葉(奇数羽状複葉 香りが劣る) 枝(棘互生 サンショウは対生) 日本固有種
42	ウリカエデ	ムクロジ科	カエデ属	落葉小高木 雌雄異株 樹皮の色、模様がウリに似ている カエデの仲間では葉が最も小さい
43	ウリハダカエデ	ムクロジ科	カエデ属	落葉小高木 雌雄異株 樹皮の色、模様がマクワウリに似ている 葉(対生 扇状五角形) カエデノ仲間としてはやや大きい翼果
44	カエデ	ムクロジ科	カエデ属	落葉高木 日本に26種 葉形が蛙の手の形に似ているからの名 紅葉(アントシアニン)黄葉(カロチノイド)
45	アオハダ	モチノキ科	モチノキ属	落葉高木 雌雄異株 樹皮が薄く簡単に剥がれ、緑色の内皮が見れることからの名 実(8月頃から赤くなり10月に熟す) アオハダ茶
46	ヒサカキ	モッコク科	ヒサカキ属	常緑小高木 神事に使われ縁起の良い木 花(釣鐘型した小さな花がびっしり並ぶ) 葉(サカキより小さく鋸歯が目立つ)
47	ヤマノイモ	ヤマノイモ科	ヤマノイモ属	つる性多年草 雌雄異株 別名ジネンジョ・ヤマイモ 葉(ハート型対生) 葉腋にむかごをつける
48	リョウブ	リョウブ科	リョウブ属	落葉小高木 古名ハタツモリ 幹(サルスベリに似て樹皮が斑に剥げて美しい) 日本では1科1属1種である
49	ツルリンドウ (写真④)	リンドウ科	ツルリンドウ属	つる性多年草 つる(長さ40~80cm 紫色を帯びる) 花(葉腋に淡紫色 花冠5裂) 実(よく目立つ赤紫) 在来種
50	リンドウ (写真⑩)	リンドウ科	リンドウ属	多年草 草丈15~45cm 単独で自生 花(茎の先や上部の葉の腋に青紫色をした鐘型の花) 花は日光を受けると開き夜閉じる 生薬
51	ミヤマガマズミ (写真⑦)	レンブクソウ科	ガマズミ属	落葉低木 葉(対生 三角状の浅い鋸歯 先が鋭く尖る) 葉柄(赤味を帯びる) ガマズミより小型 若い枝(紫褐色) 白い花

菌界 ハラタケ綱 ハラタケ目

1	アミタケ (写真⑤)	ヌメリイグチ科	ヌメリイグチ属	径3~5cm 淡黄褐色 アカマツやクロマツなどの二針葉マツの樹下に点々と群生 加熱すると赤紫に変色 食用キノコ
2	ホコリタケ	ハラタケ科	ホコリタケ属	頭部(径2~4cm) 成熟すると白から褐色に変色し、頭部中央の穴から胞子が飛び出る 別名キツネノチャブクロ 食用(幼菌時のみ可)

動物界 昆虫綱 チョウ目

1	ルリタテハ	タテハチョウ科	ルリタテハ属	表の羽は紺色地に瑠璃色のライン 裏の模様は樹皮に似る 食草 サルトリイバラ
---	-------	---------	--------	---------------------------------------

動物界 昆虫綱 トンボ目

1	ハッチョウトンボ	トンボ科	ハッチョウトンボ属	体長がアカトンボの半分位 日本最小体長2cm 湿地 雄(鮮やかな赤色 縄張り意識が強い) 雌(麦わら色)
---	----------	------	-----------	--

1	滲水湿原			生物多様性の宝庫になっているが、湧水湿地における周辺樹木の生長による湿地面積の縮小と生物多様性の減少問題が起こっている
---	------	--	--	---

2019年11月1日



① ヤクシソウ



② エフクレタヌキモ



③ ヒメアカネ



④ ツルリンドウ



⑤ アミタケ



⑥ センボンヤリ



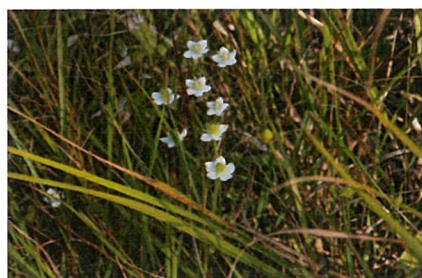
⑦ ミヤマガズミ



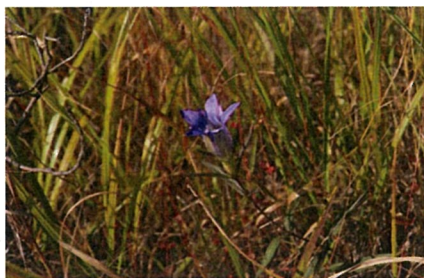
⑧ 剣谷湿原



⑨ 芦屋川の湿原



⑩ ウメバチソウ



⑪ リンドウ

[武田先生と里山を歩こう会] 植物観察実施報告書

1. 概要

テーマ	再度山永久植生保存地における植生について
行動地域	再度公園および再度山永久植生保存地
実施日・天気	2019年12月6日(金) 快晴
コースの概要	JR新神戸駅～布引滝～貯水池～再度公園～修法ヶ原～鈴蘭台
時刻・場所	集合 9:30 JR新神戸駅
	解散 15:00頃 鈴蘭台東口
費用	個人にかかる交通費以外の費用負担なし
参加人数	13人
総歩数	約15,000歩

2. 観察した主な植物

ヤブソテツ、ウラジロウツギ、**イワヒバ**、**ツメレンゲ**、**マツバラ**ン、マメツタ、タチシノブ、**シマカンギク**、ウスゲタマブキ、ハガタシダ、クマワラビ、**ナカバジャルヒゲ**、ヒトツバ、ノキシノブ、キハギ、テイカカズラ、ミツバベンケイソウ、タチシノブ、カニクサ、**ムベ**、イノデ、スズシロソウ、ヒヨドリジョウゴ、アメリカスマレサイシン、キダチコマツナギ、**イワガラミ**、ケケンポナシ、**コバノガマズミ**、ナツハゼ(ツツジ科)、コナラ、アオガシ、**ノガリヤス**、ミツデウラボシ、**サザンカ**、ツルコウゾ、イヌビワ、ヒサカキ、アカメヤナギ、コガクウツギ、ウンゼンツツジ、サオトメカズラ(ヘクソカズラ)、ヤマウルシ 他
(落ち葉 アキニレ、イロハモミジ、タイワンフウ、クズ他) 太字 写真掲載



シマカンギク



マツバラ



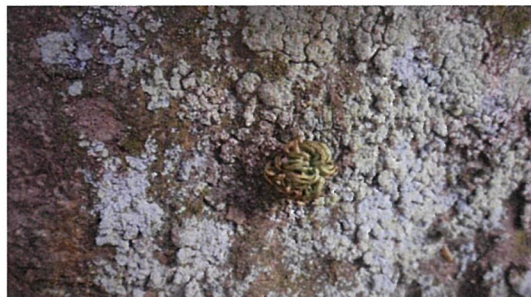
ノガリヤスとイワガラミ



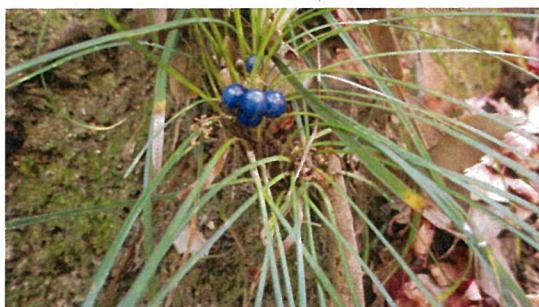
ツメレンゲ



イワヒバ(通常)



イワヒバ(乾燥時)



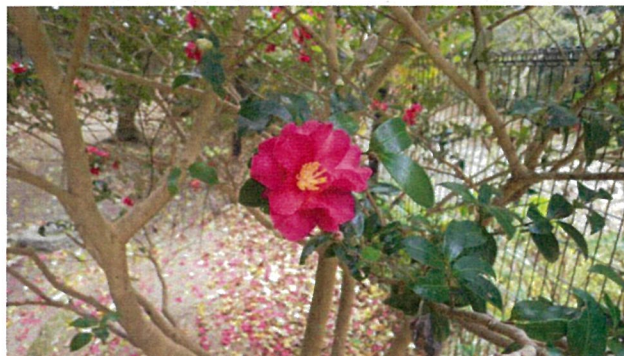
ナカバジャノヒゲ



コバノガマズミ



ムベ



サザンカ

3. 学習できたこと

- ・冬季は、特に常緑広葉樹林は暗く、落葉広葉樹林は明るい。
- ・冬季の落葉広葉樹は、地表の落ち葉からも推定可能である。
- ・この時期、既に新芽の形成をしている植物が多々ある。

4. 所感

12月は、布引～再度山～鈴蘭台の行程で実施した。

薪炭採取のため荒廃していた六甲山の緑化が進められた結果、現在では十分管理をされた生物豊富な里山となり、多くの植物を観察することができた。

布引の滝から修法ヶ原辺りの紅葉は、寒さも忘れてしまうほど見事なものであった。

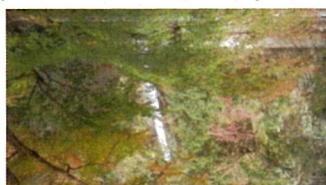
このような身近なところに「もみじの名所」があったのだと改めて知る良い機会となった。

令和元年の活動は最後となったが、来年は、ますます活動をレベルアップして植物生態の知識向上を図って行きたいと考える。

5. 一口メモ

【再度山永久植生保存地】

1868年の開港後、急速に発展し人口が急増した神戸の町では、生活用水の水質悪化が進み、上水道の整備が急務となっていました。当時の六甲山は薪の採取のための樹木の乱伐により荒廃していました。このため、水源涵養・砂防を主目的として六甲山の緑化に着手したのが1902（明治35）年、場所は再度公園の広場から修法が原池の対岸に望む再度山（標高470メートル）の北斜面です。その後、1974（昭和49）年、国際植生学会日本大会の現地見学会が再度山で開催されたことをきっかけに、神戸市ではこの森の一部を「再度山永久植生保存地」に指定、以後5年ごとに植生や土壌の変化を調査・記録し、六甲山系の緑の管理や育成に活かしています。六甲山縦走路から再度公園への通路、通称「再度越」付近では、明治の頃の植林の際に築かれた石積みを見ることができます。（建設局公園部森林整備事務所HP）



【紅葉のメカニズム】

落葉樹の葉では、気象条件が光合成に適さない冬を迎える前に老化反応が起こる。この過程では光合成の装置などが分解されて、葉に蓄えられた栄養が幹へと回収される。翌年の春にこの栄養は再利用される。栄養が十分に回収された葉では、植物ホルモンの1つエチレンの働きによって葉柄の付け根に離層ができ、枝から切り離される。これによって、無駄な水分やエネルギーが冬の間消費されるのを防ぐことができる。

紅葉の赤色は色素「アントシアン」。黄葉の黄色は色素「カロテノイド」。褐葉は黄葉と同じ原理であるが、タンニン性の物質（主にカテコール系タンニン、クロロゲン酸）や、それが複雑に酸化重合したフロバフェンと総称される褐色物質の蓄積が目立つためとされる。黄葉や褐葉の色素成分は、量の多少はあるがいずれも紅葉する葉にも含まれており、本来は紅葉するものが、アントシアンの生成が少なかったりすると褐葉になることがある。（Wikipedia 抜粋）

【カシノナガキクイムシによるナラ枯れ】

日本各地でブナ科のナラ類やシイ・カシ類が大量に枯れる「ナラ枯れ」が発生しています。

「ナラ枯れ」は、カシノナガキクイムシが集団で木に穴をあけ、菌を持ち込むことで発生する木の病気です。激害地では、真夏に突然山が真っ赤に枯れることから「第二の松くい虫」と恐れられています。平成22年度は30都府県で被害が発生しました。全国では被害量が5年間で約5倍に増加するなど急激に被害が拡大しています。（静岡県HP）



(カシノナガキクイムシ 三重県HP)



(再度山のクイムシ被害 12/6 撮影)



12/6 布引滝にて

2019年12月6日 新神戸駅から再度公園

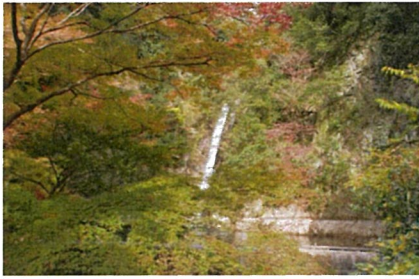
1	ムクゲ	アオイ科	フヨウ属	落葉性花木 別名ハチス 中国原産 韓国の国花 一日花 多様な品種がある 薬草
2	ヘクソカズラ	アカネ科	ヘクソカズラ属	つる性多年草 別名ヤイトバナ・サオトメバナ 薬用 特有の嫌な臭い
3	ムベ	アケビ科	ムベ属	常緑つる性木本植物 別名トキワアケビ 果実(熟しても割れない 赤紫色)
4	ムクノキ	アサ科	ムクノキ属	落葉高木 葉(裏も表も短い剛毛でザラザラした感触 やすりの代用) 根(特に巨木で板根状になる)
5	イワガラミ	アジサイ科	イワガラミ属	つる性落葉木本 気根を出して岩や樹木に付着 花(装飾花は1枚の大きな白い萼片) 似たツルアジサイの装飾花の萼片は3~4枚
6	ウツギ	アジサイ科	ウツギ属	落葉低木 別名ウノハナ 中空の茎 葉(有毛 対生) 実(独楽のような形)
7	ウラジロウツギ	アジサイ科	ウツギ科	落葉低木 ウツギと似ていて葉の裏が白い 若い枝・ガク筒・蒴果にも星状毛 花(円錐花序を出し白色の花を多数下向きに付ける)
8	スズシロソウ	アブラナ科	ヤマハタザオ属	多年草 草丈10~25cm 急傾斜地・崖などに生育 葉・茎(星状毛) 根元から長い匍枝を伸ばす 花(白色 花弁4枚)
9	ハクサンハタザオ スズシロソウ	アブラナ科	ヤマハタザオ属	多年草 草丈10~30cm 茎が旗を揚げる竿の様なので付いた名 茎(株状 花後倒れて節から新苗を出す) 花(白色 花弁4枚)
10	オオバイノモトソウ	イノモトソウ科	イノモトソウ属	常緑性シダ植物 胞子葉(栄養葉より背が高い 葉幅は狭く、ソーラスは羽片の辺縁につく)
11	イヌガヤ	イヌガヤ科	イヌガヤ属	常緑小高木 カヤに似ているがあまり有用でないので付いた名 雌雄異株 葉裏(2本の気孔帯) 痛くない
12	ノガリヤス	イネ科	ノガリヤス属	多年草 草丈60~150cm 著しく群生 名前は野に生える刈り取りやすい草の意味 在来種
13	メダケ	イネ科	メダケ属	ササ類 稈(高さ2~4m 径1~2cm) 笹としては大きい部類 その姿がすらっと細く伸び女性的
14	ヤダケ	イネ科	ヤダケ属	ササ類 タケと付いているが成長しても皮が桿をつつんでいるのでササに分類される 矢の材料になる
15	イワヒバ (写真③)	イワヒバ科	イワヒバ属	シダ植物 山地の岩の上にヒノキに似た枝葉が放射状に出る 乾燥すると丸く縮こまる
16	コシアブラ	ウコギ科	ウコギ属	落葉高木 葉(掌状複葉5枚) 若芽は山菜 初冬、白みを帯びた黄葉と黒い房が目立つ
17	ヒトツバ	ウラボシ科	ヒトツバ属	常緑シダ植物 草丈30~40cm 葉(厚くて丈夫 葉表に白色の星状毛がまばら 葉裏に褐色の星状毛密生) 胞子葉(裏全面にソーラスをつける)
18	マメヅタ	ウラボシ科	マメヅタ属	常緑性シダ植物 栄養葉(肉厚で丸い) 胞子葉(長さ6cm程の立ち上がったヘラ型)
19	ミツデウラボシ	ウラボシ科	ミツデウラボシ属	常緑性シダ植物 草丈5~20cm 葉(単葉で十分に成長すると大きく3つに裂ける 葉柄2~20cm) ソーラス(径2~3mm)
20	ヤマウルシ	ウルシ科	ウルシ属	落葉小高木 葉軸(赤褐色) 葉(奇数羽状複葉) 雌雄異株 紅葉が美しいかぶれる
21	イノデ	オンダ科	イノデ属	常緑シダ植物 草丈40~80cm 葉柄や中軸に光沢のある鱗片が多数ある状況をイノシシの手に例えた 在来種
22	クマワラビ	オンダ科	オンダ属	常緑性シダ植物 草丈40~80cm 葉(叢生 2回羽状複生) 葉の先端だけにソーラスが付き羽片は小さい 在来種
23	ベニシダ	オンダ科	オンダ属	常緑性シダ植物 草丈50~120cm 春の新芽の芽吹きが赤いことに由来 若いソーラスも鮮やかに赤い
24	ハカタシダ	オンダ科	カナワラビ属	常緑性シダ植物 草丈50~100cm 葉の中央に黄色い斑入りが多く博多織に見立てた名 根茎(短く這う)
25	ヒロハヤブソテツ	オンダ科	ヤブソテツ属	常緑シダ植物 草丈60~100cm 葉(1回羽状複葉 側羽片2~8対 耳垂無し)
26	ヤブソテツ	オンダ科	ヤブソテツ属	常緑シダ植物 草丈70~100cm 葉(単羽状複葉光沢無し 側羽片15~25対 耳垂無し)
27	ヤマヤブソテツ	オンダ科	ヤブソテツ属	常緑シダ植物 草丈50~100cm 葉(1回羽状複葉光沢無し 側羽片が広くて15対まで 耳垂あり)
28	カキノキ	カキノキ科	カキノキ属	落葉高木 雌雄同株 果実(古くから食用) 幹(家具に) 葉(お茶) 柿渋(防腐剤) 品種1000を超える
29	オオイトスゲ	カヤツリグサ科	スゲ属	多年草 草丈20~50cm 日本固有種 まばらに叢生 葉(幅2~3mm) 小穂(2~4個 直立)
30	オオオナモミ	キク科	オナモミ属	一年草 北アメリカ原産 草丈70~170cm 果実(先端が曲がった鉤状の棘でひつつき虫) 同属のなかで最も大きく育つ

31	ヤクシソウ	キク科	オニタビラコ属	2年草 別名チチグサ 葉(茎を抱く) 花(黄色 上を向いて開花し花後は下向きに)
32	シマカンギク	キク科	キク属	多年草 草丈30~80cm 別名アブラギク(江戸時代、花を油に浸して生薬にした) 茎(叢生) 花(黄色)
33	コウヤボウキ	キク科	コウヤボウキ属	落葉小高木 高さ50~100cm 花(本年枝の先に白い筒状花を1輪) 葉・枝(毛) 高野山で薬に使用
34	コセンダングサ	キク科	センダングサ属	熱帯アメリカ原産 草丈50~100cm 花(舌状花はなく筒状花のみ 黄色) 果実(冠毛に下向の棘) ひっつき虫
35	ナガバジャノヒゲ	キジカクシ科	ジャノヒゲ属	常緑多年草 草丈10~30cm 林床に株立ち 草丈(長さ30~40cm) 花(白~淡紫色) 葉(線形) 種子(濃青紫色)
36	テイカカズラ	キョウチクトウ科	テイカカズラ属	つる性常緑低木 有毒植物 謡曲の「定家」に由来 花(スクリュウ型) ササゲのような長い実
37	クロモジ	クスノギ科	クロモジ属	落葉低木 葉の展葉と同時に淡黄緑色の花をつける(アブラチャン・ダンコウバイは花が先に咲く)
38	シナサワグルミ	クルミ科	サワグルミ属	落葉高木 雌雄同株 中国原産 葉(偶数羽状複葉 15~30cm 中軸に翼有り)
39	ケンボナシ	クロウメモドキ科	ケンボナシ属	落葉高木 果実(有毛) 果柄(太く肉質に膨らむ 食用) 葉の裏・新芽・若枝・萼片・花序も有毛
40	イタピカズラ	クワ科	イチジク属	常緑つる性木 雌雄異株 別名ツルイチヂク 枝・葉を折ると白い乳液が出る 果実(イチヂク状果)
41	イヌビワ	クワ科	イチジク属	落葉小高木 雌雄異株 ビワより味も実の形状もイチヂクに似る 枝・葉柄を切ると白い乳液が出る イヌビワコバチとの共生
42	ツルコウジ	サクラソウ科	ヤブコウジ属	常緑小高木 つる性の茎が地上を横に這う 果実(5~6mmの球形の赤い実) 葉(変化多い) 再度山には無い
43	アメリカスミレサイシン	スミレ科	スミレ属	北米原産 根茎がワサビ状に肥厚する 距(短い) 葉(円形 光沢あり)
44	クサギ	シソ科	クサギ属	落葉小高木 葉に悪臭ある 先駆種 葉(対生 殺菌作用あり) 核果(碧色で 赤いガクが目立つ)
45	ウンゼンツツジ	ツツジ科	ツツジ属	半常緑低木 若枝に伏剛毛 葉(春葉と夏葉 互生5~10mm) 花(漏斗形 淡紅紫色 1.3~1.5cm)
46	アオツツラフジ	ツツラフジ科	アオツツラフジ属	つる性落葉木 雌雄異株 有毒植物 葉(互生 形は変化が多い) 核(アンモナイトの形)
47	ヒヨドリジョウゴ	ナス科	ナス属	つる性多年草 全体に軟毛を密生 葉柄で他物に絡みつく 花(白色 裂片は反り返る) 実(赤色)
48	ハダカハウズキ	ナス科	ハダカハウズキ属	多年草 草丈60~90cm ハウズキのようにガクの袋がない 花(下向き 淡黄色 鐘型) 液果(赤色 1cm)
49	アキニレ	ニレ科	ニレ属	落葉高木 本州中部以西に分布 秋に花が咲く(春ニレは春に花が咲く) 葉(小さく厚くてつやあり)
50	ビワ	バラ科	ビワ属	常緑高木 中国南西部原産 葉(互生 毛多い 民間薬として重宝) 果実(ナシ状果)
51	タイワンフウ	フウ科	フウ属	落葉高木 雌雄同株 台湾楓 葉(互生 3裂掌状葉 紅葉) 棘のある集合果(3cm位)
52	カニクサ	フサンダ科	カニクサ属	夏緑シダ植物 つる性 別名ツルシノブ 葉(長く伸びる 軸は2m近く)
53	ノブドウ	ブドウ科	ノブドウ属	つる性落葉低木 2分岐した巻きひげで他物に絡みつく 果実(白~青~紫色~赤色)
54	アベマキ	ブナ科	コナラ属	落葉高木 樹皮(厚いコルク層) 樹幹(直立) 葉(互生 直線的 裏星状毛) どんぐり(2年かかる)
55	ウラジロガシ	ブナ科	コナラ属	常緑高木 雌雄同株 葉(互生5~13cm 鋸歯が鋭くとがる) ウラジロガシ茶(利尿・結石の抑制)
56	シラカシ	ブナ科	コナラ属	常緑高木 雌雄同株 材が白いからの名 葉(互生5~12cm 上半分に鋸歯) 樹皮(黒色)
57	マテバシイ	ブナ科	マテバシイ属	常緑高木 雌雄同株 日本固有種 葉(20cm程 丈夫な皮質) 果実(穂状に結果し枝ごと落ちる)
58	ツメレンゲ (写真④)	ベンケイソウ科	イワレンゲ属	多肉植物 葉(ロゼット状) 葉が細長く先端が刺状に尖っている状態を動物の爪に例えた名
59	ミツバベンケイソウ	ベンケイソウ科	ムラサキベンケイソウ属	多年草 草丈20~80cm 茎(直立) 全体に無毛 葉(3~5個輪生 肉質) 花(幅2~6cmの球形の複散房花序 淡黄緑色)
60	タチシノブ	ホウライシダ科	タチシノブ属	常緑性シダ植物 葉がシノブ(落葉性)と良く似ており、直立するから別名カンシノブ
61	キウイ	マタタビ科	マタタビ属	落葉ツル性植物の果実 雌雄異株 シマサルナシに近い

62	シマサルナシ	マタタビ科	マタタビ属	落葉つる性木本 雌雄異株 別名ナシカズラ 茎が他物に巻き付いて生育 実(キウイの小型 生食) 再度山には無い
63	マツバラシ (写真⑤)	マツバラシ科	マツバラシ属	着生シダ植物(茎だけで葉も根も無い) シダの中でも特殊な原始的種類 胞子嚢(黄色で大きい)
64	サネカズラ	マツバサ科	サネカズラ属	常緑つる性木本 雌雄異株 別名ピナンカズラ 昔は男性の髪付け油に使用 集合果(真赤粒々)
65	クズ	マメ科	クズ属	つる性多年草 秋の七草 根(葛粉・漢方薬) 周りの木を覆うほどの生命力 つるの繊維(葛布)
66	キダチコマツナギ	マメ科	コマツナギ属	落葉小高木 中国原産 別名トウコマツナギ コマツナギに比べて枝に葉・花序を密につける
67	キハギ	マメ科	ハギ属	落葉低木 茎(木質化した灌木状) 葉(3出複葉 互生) 花(総状花序 淡紫白色の小さな蝶型)
68	イロハモミジ (写真⑨⑩)	ムクロジ科	カエデ属	落葉高木 陰樹 雌雄同株 紅葉の代表種 葉(対生 5~7深裂 重鋸歯) 果実(翼果)
69	ヒサカキ	モッコク科	ヒサカキ属	常緑小高木 雌雄異株 葉(互生 厚みがある皮質 先が凹んでいる) びっしりと実が付く
70	シュロ	ヤシ科	シュロ属	常緑高木 雌雄異株 葉(扇状 先が折れ曲がり下垂) 幹(直立 縄やたわしの材料)
71	アカメヤナギ	ヤナギ科	ヤナギ属	落葉高木 雌雄異株 別名マルバヤナギ 葉(丸い) 新芽・若葉が赤色を帯びるので付いた名 湿地好む
72	セイヨウハコヤナギ	ヤナギ科	ヤマナラシ属	落葉高木 雌雄異株 別名ゴブラ・イタリアヤマナラシ 湿地好む ヨーロッパ原産 クワガタがよく集まる 葉(互生 菱状三角形)
73	コバノガマズミ	レンブクソウ科	ガマズミ属	落葉低木 葉(対生 先端尖る 鋭い鋸歯 葉柄が短い) 全体に星状毛あり 赤い実

鳥網 カモ目

1	オシドリ (写真⑦)	カモ科	オシドリ属	漂鳥 全長雄48cm雌41cm 繁殖期の雄は鮮やかな体色 樹洞に巣を作る 群れで行動 鳥類のオシドリは冬ごとに毎年パートナーを変える
2	マガモ (写真⑥)	カモ科	マガモ属	冬鳥 体長50~65cm 繁殖期の雄(アオクビと呼ばれる)は鮮やかな体色 群れを形成 アヒルの祖先 アヒルとマガモのかけ合わせがアイガモ



① 布引雌滝



② 布引雄滝



③ イワヒバ



④ ツメレンゲ



⑤ マツバラシ



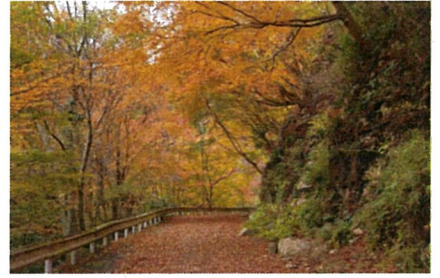
⑥ 布引貯水池にいたマガモ



⑦ オンドリ



⑧ 市が原で昼食



⑨ イロハモミジの紅葉



⑩ イロハモミジの中を

【武田先生と里山を歩こう会】 植物観察実施報告書

作成者 鳥巢由美子・平崎恭子・西村充弘

行先	あいな里山公園(国営明石海峡公園神戸地区)
日時・集合場所・天気	2020年2月7日(金) 神戸電鉄藍那駅 9時30分 快晴
入場料	シルバー(65歳以上)210円、大人(15歳以上)450円
参加人数	18人

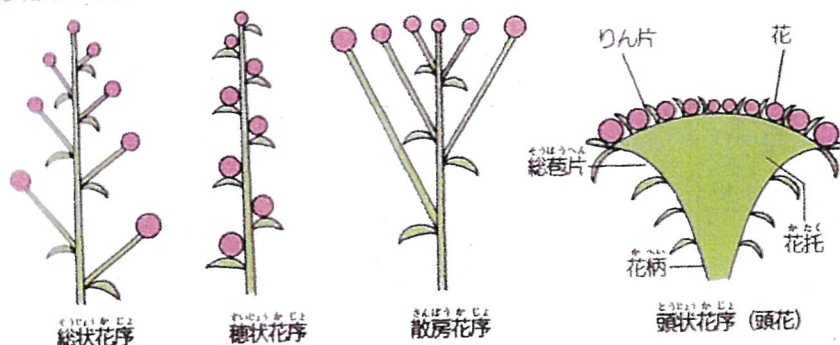
少し寒かったが風も無く、午後からは日も射し、穏やかな日であった。水辺の生き物の観察や探鳥会もでき、棚田景観地区、伝庫の家(移築された茅葺民家)と農家の庭もあり、田舎らしい風情と自然を満喫できた。

- 公園で出会える生き物・・・ニホンアカガエルの卵など
- 公園で出会える植物・・・ススキ・オギ・タコノアシ・ヤマモモ・ジャノヒゲなど

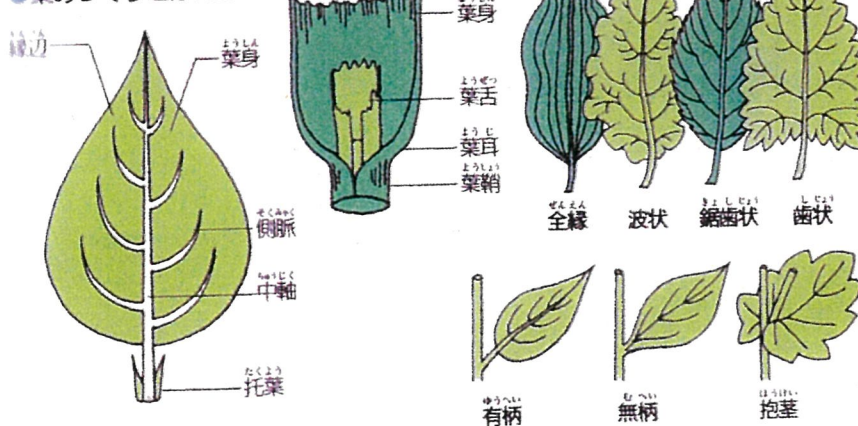
参考までに用語もものせておくから勉強してね。自然の中で楽しむ里野林海岸の野草 500種、平野隆久 2015より



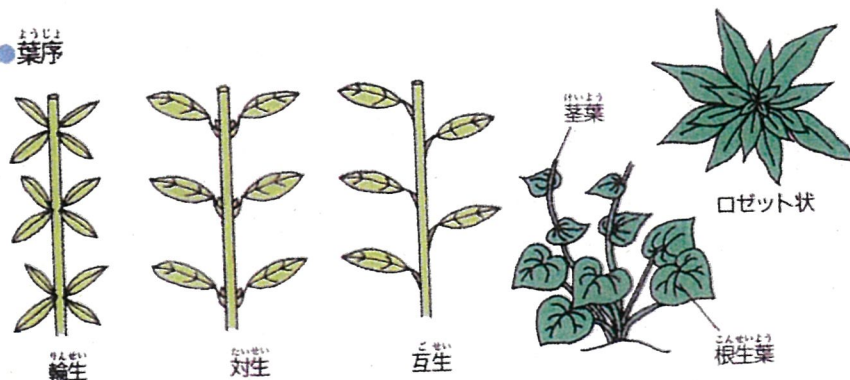
●花のつき方



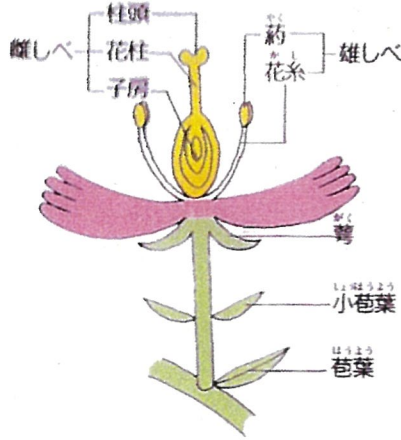
●葉のつくりとかたち



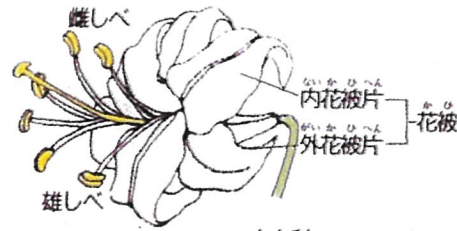
●葉序



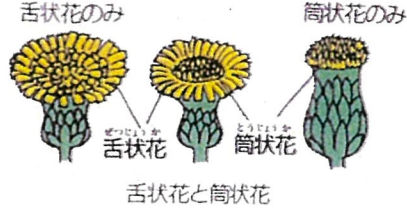
●花のつくり



ユリ科

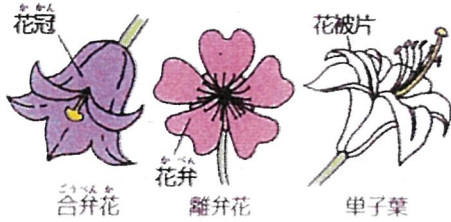


キク科



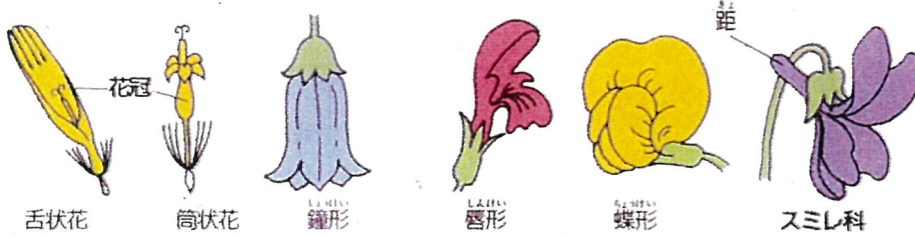
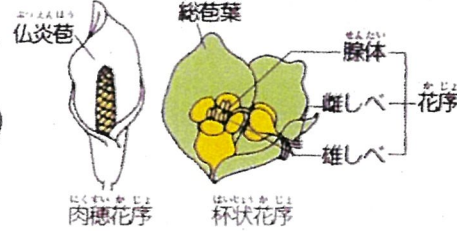
舌状花と筒状花

●花びらと花のかたち

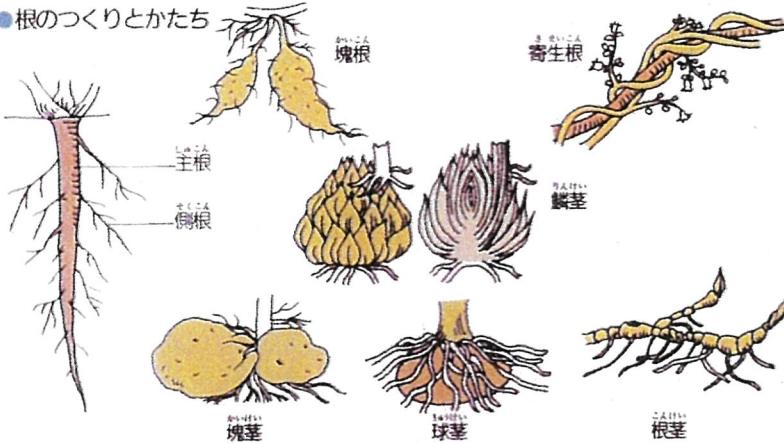


サトイモ科

トウダイグサ科



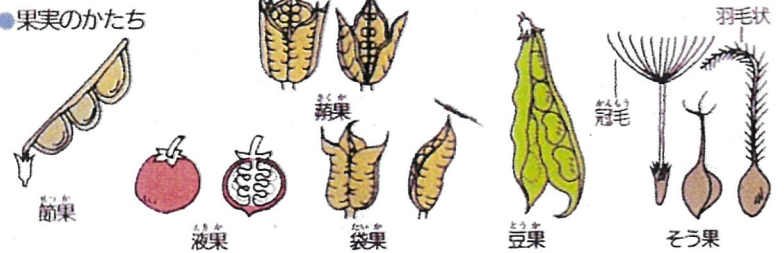
●根のつくりとかたち



●その他の用語

- 距………花の一部が萼の後ろへ長く伸びている部分。
- 雌雄異株………雄花をつける雄株と雌花をつける雌株があるもの。
- 風媒花………風が媒介して受粉を行う花。
- 閉鎖花………開花せずに結実する花。
- ムカゴ………茎が肥大し、葉のわきにできる珠芽のこと。
- ランナー………新しい苗をつくるため、横にはうように伸びる枝。
- 稜………葉や種にできる盛りあがった筋のこと。

●果実のかたち



2020年2月7日 あいな公園

1	カヤ	イチイ科	カヤ属	常緑針葉樹 葉(先端が鋭利で触れると痛い 表面は光沢あり 裏面淡い緑で2本の気孔帯)材(固く 葦盤・造船など) 種子(食用)
2	オギ (写真⑮)	イネ科	ススキ属	多年草 草丈1~2.5m 河原などに群生 ススキと違って株立ちにならない、のぎもない 花(9~10月 銀白色でやや光沢があり美しい) 茅葺屋根の材料
3	チガヤ	イネ科	チガヤ属	単子葉植物 日当たりの良い空き地に群落 根絶が難しいとされる雑草 屋根を葺くのに使われた
4	ヤマウルシ	ウルシ科	ウルシ属	落葉低木 雌雄異株 葉(奇数羽状複葉)と花序が同時に展開 新葉の葉軸(赤褐色で目立つ) 紅葉が美しい 果実(ロウを採った)
5	エゴノキ	エゴノキ科	エゴノキ属	落葉小高木 陽樹 果実の味がエグイための名 花(白い清楚な花が枝一杯に 花冠深5裂で星状毛) 果皮(エゴサポニンを多く含む)
6	オトコエシ	オミナエシ科	オミナエシ属	多年草 草丈60~100cm オミナエシに似ているが花の色は白く、姿も遙かに逞しい 全体に毛
7	ホソバヘラオモダカ	オモダカ科	サジオモダカ属	多年草 湿地などで生育 葉(長さ5~20cm幅3~10mmの線形) 花(1日花 午後に開花して夕刻に閉じる 花弁3個)
8	カキドウシ	カキドウシ科	カキドウシ科	つる性多年草 別名癩取草・連銭草 根根を突き通すほど、勢いよくのびることから名 薬草 お茶
9	ハンノキ	カバノキ科	ハンノキ属	落葉高木 水湿のある低地に生育 花粉症の原因(ハンノキ花粉症による口腔アレルギー)根に根粒菌を持つ ミドリシジミの食草
10	コバノガマズミ	ガマズミ科	ガマズミ属	落葉低木 葉(葉柄がごく短い 両面に星状毛が著しい) 花(4~5月に小さな白色のはなを多数付ける) 果実(9~11月赤色に熟す)
11	エゾアブラガヤ	カヤツリグサ科	アブラガヤ属	多年草 日本固有種 日当たりの良い湿った場所に大きな株で生育 高さ1.3~2.2m 茎(固く太く純3菱形)
12	ツリガネニンジン	キョウ科	ツリガネニンジン属	多年草 根が朝鮮人参、花が釣鐘に似るので付いた名 花(茎頂に淡紫色の花を数段に輪生 花柱が突き出ている) 山菜 生薬
13	ホタルブクロ	キョウ科	ホタルブクロ属	多年草 花(6~7月 長さ4~5cmの鐘形 淡紅紫・白色 斑点あり) 葉柄(翼あり)
14	セイタカアワダチソウ	キク科	アキノキリンソウ属	北アメリカ原産 多年生草本 ロゼットで越冬 根や地下茎からアレロパシー物質を分泌して周囲の植物の成長を抑制する
15	オニタビラコ	キク科	オニタビラコ属	越年草 全体に細かい毛 茎や葉を切ると白い乳液 花(黄色の小さな花) アカオニタビラコ(ロゼットに赤い部分あり)
16	ヤクシソウ	キク科	オニタビラコ属	2年草 花(黄色 花期を過ぎると下向きに) 葉(互生 基部が茎を抱く) かつて民間薬として使用 葉や茎を傷つけると白い乳液を出す
17	コウヤボウキ	キク科	コウヤボウキ属	落葉小高木 高野山では弘法大師の教えで果樹や竹などの植栽を禁じられていたためこの植物で作った簪が用いられた
18	ヒヨドリバナ	キク科	フジバカマ属	多年草 秋の七草 日当たりの良い場所に自生 アサギマダラが吸蜜 薬草 特徴(単葉で裂けず柄があり対生する)
19	キブシ	キブシ科	キブシ属	落葉低木 雌雄異株 別名キフジ 日本固有種 花(淡黄色の総状花序を垂れ下げる) 実(タンニンを含む) パイオニア植物
20	テイカカズラ	キョウチクトウ科	テイカカズラ属	常緑つる性木本 有毒植物 日本原産 謡曲の「定家」花(乳白・ピンク 船のスクリューーのような形)
21	ヤマコウバシ	クスノキ科	クロモジ属	落葉小高木 雌雄異株 葉(冬に枯れてもそのまま木に残って春に落ちる) 葉を粉にして蕎麦のつなぎにした よい香りがする
22	アキグミ	グミ科	グミ属	落葉低木 果実(生食・果実酒) 昔、薬用茶にするために田んぼの側に植えていた
23	アリマグミ	グミ科	グミ属	落葉低木 神戸市有馬付近で発見された 日本固有種 花柄が長く花が下垂する 葉(星状毛あり)
24	ツルグミ	グミ科	グミ属	常緑つる性低木 葉(表は無毛つやあり 裏面赤褐色の鱗片が密生) 花(赤褐色の鱗片が密生) 果実(長さ15mmの楕円形で春に赤く熟す)
25	ナワシログミ	グミ科	グミ属	常緑低木 苗代を作る時期に実がなるので付いた名 花(秋に黄白色 芳醇な香りあり)
26	ケケンボナシ	クロウメモドキ科	ケンボナシ属	落葉高木 雌雄同株 葉(3行脈が目立つ コクサギ型葉序 裏毛があり) 花(6~7月7mmほどの緑白色花) 実(花軸が肉質となり食用)
27	オカトラノオ	サクラソウ科	オカトラノオ属	多年草 山野の日当たりの良い草原に生育 花穂(虎の尾のように垂れ下がる) 花(茎の先に総状につけ下から小さい白い花を開花)
28	セキショウ	ショウブ科	ショウブ属	多年草 薬草 高さ20~50cm ショウブに似るが全体に小さい 葉(20~50cm 剣状) 花(長さ10cmの細い肉穂花序に黄色の小花)
29	ミツマタ	ジンチョウゲ科	ミツマタ属	落葉低木 中国中西南部・ヒマラヤ原産 枝(3本ずつ分岐) 樹皮(和紙の原料) 花(2月から3月にかけて黄色い花は芳香あり)

30	ヤマウグイスカグラ	スイカズラ科	スイカズラ属	落葉低木 葉(毛が多くザラザラ) 花(細い漏斗型の淡紅色の花) 実(6月に楕円形で赤く熟す 可食)
31	タコノアシ	タコノアシ科	タコノアシ属	多年草 花(花弁は内側、おしべが外側と一般的な花の構造と逆転) 紅葉すると果実がゆでだこの足のように見える 絶滅危惧II類
32	シャシャンボ	ツツジ科	スノキ属	常緑小高木 葉(葉脈がかさつく やや厚い皮質) 花(7月頃白い壺状の花を下向きに) 果実(黒紫色に熟した小さい球形の液果 食用)
33	シロバナウンゼンツツジ	ツツジ科	ツツジ属	常緑低木 樹高1~2m 葉・花(ツツジの仲間で最も小さい) 雲仙岳には全く自生していない 六甲山地は全て白い花
34	ネジキ	ツツジ科	ネジキ属	落葉小高木 幹が捻じれることからの名 新しい枝はあかみを帯びる 有毒 花(白いツボ上の花を多数下垂させる) 実(上を向く)
35	シキミ	ツブサ科	シキミ属	常緑小高木 雌雄同株 葉(互生 光沢 全縁) 花(淡黄緑白色) 種(八角に似るが有毒) 仏事に使用
36	ミズオオバコ	トチカガミ科	ミズオオバコ属	一年草 湖沼・水路・水田などに生える沈水植物 花(1日花 2~3cm 白色から薄い桃色の花弁3枚) 花の下に翼のある筒状の苞鞘あり
37	ニガキ	ニガキ科	ニガキ属	落葉高木 雌雄異株 実(プロペラ状) 葉(羽状複葉) 全ての部分に苦みがある 太田胃散の原料
38	ツリバナ	ニシキギ科	ニシキギ属	落葉低木 花(黄緑色の小さな5弁花)や実(朱色の球形、後5つに割れる)がぶら下がってつく
39	ハナイカダ	ハナイカダ科	ハナイカダ属	落葉低木 別名ヨメノナミダ 葉の上に花が咲くのが特徴 雌雄異株 花の載った葉を筏に見立てた名
40	ウワミズザクラ	バラ科	ウワミズザクラ属	落葉高木 花(白いブラシのような穂状の花) 大嘗祭の儀式に使用 果実・つばみ(食用) クマリン
41	イヌザクラ	バラ科	ウワミズザクラ属	落葉高木 ウワミズザクラと同じような白い穂状の花 花序の基部に葉がない 葉の展開後に開花
42	カマツカ	バラ科	カマツカ属	落葉小高木 材を鎌の柄に使用 別名ウシコロシ 花(白色5弁花) 若葉と実が食用 木質に粘りがあり固くて折れにくい
43	カスミザクラ	バラ科	サクラ属	桜の野生種の一つ 白い花が満開になると霞がかかったように見えるので ヤマザクラより開花が遅い 葉の展開と同時に開花
44	ヤマザクラ	バラ科	サクラ属	落葉高木 野生のサクラの代表 開花と共に赤みの新葉 葉柄(赤みを帯び1対の腺点あり) 花(2.5~3.5cm5弁花)
45	ワレモコウ	バラ科	ワレモコウ属	多年草 野山の草原に生息 花(9月暗褐色の丸い穂の上から下に順に開花) 生薬
46	アカガシ	ブナ科	コナラ属	常緑高木 雌雄同株 別名オオガシ カシの仲間では最も大きな葉材が赤みを帯びている 2年目の秋にどんぐりの実がなる
47	アベマキ	ブナ科	コナラ属	落葉高木 樹皮(コルク層が発達 縦に深く割れる) 葉裏(星状毛がびっしり) 薪炭材・シイタケのほだ木・粉コルク材に利用
48	コナラ	ブナ科	コナラ属	落葉高木 雌雄同株 かつては薪炭材として里山の代表格 シイタケのほだ木に利用 カプトムシなどが好む樹液を出す
49	シラカシ	ブナ科	コナラ属	常緑高木 雌雄同株 材がアカガシより白い 昔、農家が防風樹・防火樹・器具・薪・船の道具として植えた
50	ツクバネガシ	ブナ科	コナラ属	常緑高木 雌雄同株 カシの仲間では最も寒がり 枝先の葉が輪生状に並ぶ様子が「つくばね」に見えることからの名
51	モミ	マツ科	モミ属	常緑針葉樹 雌雄同株 葉(枝にらせん状に 先端は2裂し触ると痛い) 諏訪大社の御柱祭りの御神木に使用 良質のテルペンを放散
52	ツルマメ	マメ科	ダイズ属	つる性1年草 別名ノマメ ダイズの原種 茎(下向きに粗い毛) 葉(3小葉) 花(淡紅紫色) 豆果(長さ2~3cm 毛が密生)
53	イヌハギ	マメ科	ハギ属	半木状の多年草 全体に黄褐色の軟毛 葉(3出複葉 互生) 花(黄白色~白色 蝶形)
54	マルバハギ	マメ科	ハギ属	落葉低木 別名ミヤマハギ 葉(3出複葉 互生 葉の先端はくぼむ) 花(紫紅色の蝶形花を2個ずつ対に密生)
55	クマノミズキ	ミズキ科	ミズキ属	落葉高木 枝(放射状に出て斜上する) 葉(対生) 花(6月に咲く) よく似たミズキは互生で5月に花が咲く
56	マルバアオダモ	モクセイ科	トネリコ属	落葉高木 雌雄異株 マルバの意味は葉の形ではなく鋸歯がない事を表す 葉(奇数羽状複葉) 花(花弁は線形 白い花を密に)
57	ハウノキ	モクレン科	モクレン属	落葉高木 花(15~20cm)・葉(40cm)・実(10~15cm)の全てが大型 樹皮は漢方に 材は版木・鍵盤・下駄など幅広く用いられる
58	ソヨゴ	モチノキ科	モチノキ属	常緑小高木 波状の葉がそよそよと風に揺れることからの名 雌雄異株 果実(5~6cmの柄でぶら下がる赤い実)
59	ヒサカキ	モッコク科	ヒサカキ属	常緑小高木 中国原産 葉(楕より小さく縁のギザギザが目立つ) 花(プロバンガスのような匂い) 櫛の代用として神事に使用

60	マルバヤナギ	ヤナギ科	ヤナギ属	落葉高木 雌雄異株 湿地に生育 別名アカメヤナギ 綿毛が付いた柳の種は「柳絮(りゅうじょ)」と呼ばれる コムラサキの食草
61	ヤマノイモ	ヤマノイモ科	ヤマノイモ属	つる性多年草 雌雄異株 葉(対生 ハート形)葉柄(緑色) むかごを作る ナガイモ(葉が矢尻形で葉柄に紫の斑点あり)は全くの別種
62	ヤマモモ	ヤマモモ科	ヤマモモ属	常緑高木 雌雄異株 あいな公園にあるのは、奈良時代朝廷に献上される程の大きな実がなる徳島・高知から来た木
63	ウバユリ (写真⑭)	ユリ科	ウバユリ属	多年草 花が満開になる頃には葉が枯れてくることが多いため、歯のない「姥」にたとえられて付いた名
64	ナガバジャノヒゲ	ユリ科	ジャノヒゲ属	常緑多年草 山野の林床に生育 葉(長さ20~40cm幅1.5~2.5cmの線形) 種子(直径10mm濃青色) 花(5~10cmの花穂を形成) 薬草
65	センブリ	リンドウ科	センブリ属	2年草 草丈10~25cm 明るい草原に生育 全草に強い苦み 薬草として利用 花(星形の白い5弁花)
66	リンドウ	リンドウ科	リンドウ属	多年生植物 日本原産 群生せず単独で自生 花(日光を受けると開き夜閉じる) 漢方
67	ミヤマガマズミ	レンブクソウ科	ガマズミ属	落葉低木 雌雄同株 花・実・紅葉が美しい ガマズミよりも標高が高いところに多い ガマズミより葉・花が小さい

昆虫綱

1	ウスタビガ	ヤママユガ科	ヤママユ属	ガの一種 開張90~110mm 4枚の翅に1つずつ目玉を思わせる半透明の斑紋 緑色の面白い形をした繭
2	ヤママユ	ヤママユガ科	ヤママユ属	ガの一種 日本在来の代表的な野蚕 翅を広げると10cmをかるく超える大きなガ 当日整った卵型の黄色い空繭があった

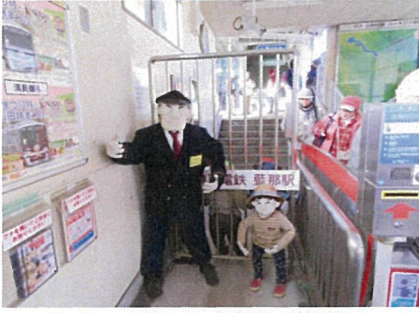
両生綱

1	ニホンアカガエル (写真⑦)	アカガエル科	アカガエル属	日本固有種 体長(3~7cm) 赤褐色 春先の一番早い時期に水田などに卵塊を産出
2	カスミサンショウウオ (最近の研究で瀬戸内 のものはセトウチサン ショウウオに分けられ た)	サンショウウオ科	サンショウウオ属	日本固有種 全長9.4~12.7cm 背面の色彩(緑褐色・淡灰褐色) 絶滅危惧II類

鳥綱

1	カルガモ	カモ科	マガモ属	全長60cm 留鳥 渡りをせずにいつも身近にいるカモ オス、メス同色 水辺に生育 マガモよりやや体重が軽い
2	ハシビロガモ (写真⑩)	カモ科	マガモ属	長いへら型のくちば(水を吸い込み植物プランクトンなどを濾過して食べる) 全長43~56cm 冬鳥湖沼・河川・海岸に生息
3	ヒドリガモ (写真⑫)	カモ科	マガモ属	冬鳥 全長雄約53cm 雌約43cm 頭部の形状はほかのカモと異なり台形に近い形状 群れる 海藻が大好きな緋色色の顔したカモ
4	ハクセキレイ	セキレイ科	セキレイ属	全長21cm 白黒(灰色)ツートンカラーの体 白い顔で黒い過眼線 スズメより長い尾を上下に振る 群れは作らない 縄張り意識が強い
5	ジョウビタキ (写真⑨)	ツグミ科	ジョウビタキ属	翼に白い斑 雄(頭上が白く胸から腹が橙色) 15cm 冬鳥として全国に渡来
6	ホオジロ (写真⑧)	ホオジロ科	ホオジロ属	別名ヤマスズメ 留鳥 農耕地・草地 全長16.5cm 全体赤みのある褐色で背には黒色の縦斑 オス(喉・頬・眉斑が白い)

2020年2月7日



①神戸電鉄藍那駅の駅長さん



②昨日からの冷え込みでつららが！ 10年以上つららにお目にかかったことがなかった



③藍那はやはり寒いのだろう



④あいな里山公園



⑤藁で作られていたハリネズミ



⑥湿地環境を保全している



⑦ニホンアカガエルの卵塊



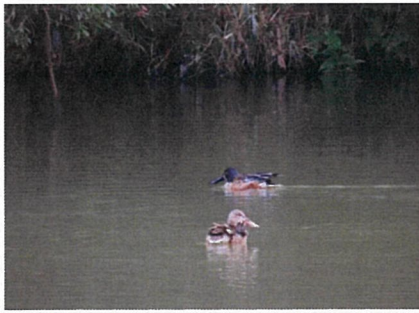
⑧ホオジロ



⑨ジョウビタキ



⑩もはやヤマウグイスが咲いていた



⑪藍那の溜池に来ていたハシビロガモ



⑫ヒドリガモ



⑬コウヤボウキ



⑭ウバユリ



⑮枯れたオギも美しい

2019年度 メンバー

武田 義明先生
大野 隆先生

煎田 良吉	岩本 亮一
白田 修	大脊戸 光江
太田垣 忠興	大槻 信夫
梶谷 孝司	加瀬 麗子
加藤 哲	小池 敏予
越間 峰敏	佐藤 修一
佐原 一彌	玉垣 久美子
鳥巢 由美子	永井 百合子
中村 文子	西村 充弘
野村 美智子	長谷 眞子
八田 佳子	平崎 共子
福田 貞男	藤重 ノブ子
山内 和孝	丸山 公子
山末 勝子	

(敬称略)

